京城日報
廿六日夕刊

◎李内閣顔觸一説

一説によれば其後決定せる李總督内閣の閣員顔觸は左の如しと▲内務部總長章士釗▲交通部總長汪大燮▲農商部總長張謇▲教育部總長嚴修▲司法部總長湯化龍

◎英造船職工の罷業

十九日倫敦造船職工の同盟罷業の結果軍隊はバルカン及びタニケシヨの鐵工場を支配するに至れり當局者は宣言書を發して罷業者に復業を命じたり（倫敦電報）

◎露國廢帝を訴へん

露國陸相ケレンスキー氏の非公式の談に曰く露國皇帝が獨逸に對し露國を賣らんとせる行動に對し廢帝を起訴すべしと（露都電報）

◎露國財政の危機

救濟策は公債に應ずるの一途あるのみ―一財政家の意見

露國の一財政家は今や紙幣の流通額が約百二十億留に達し財政上非常の危機に瀕し一日の軍事費約六千萬留を要するに拘らず租税の審査改訂の如きは多大の日數を要し焦眉の急務なる軍隊維持費支出の唯一の良策は國民が自由公債に應ずるの外無きを説き若し國民が之に應せざる時露國政府は愈々紙幣を濫發するの外無く爲めに留の下落より生ずる有ゆる不利を忍ばざる可からずとし佛蘭西革命の際千七百九十五年紙幣の價額が額面の十分の一に下落し年末に至り殆ど無價値となりし例を擧げ露國は佛蘭西革命の失敗の歴史を繰り返すかと嘆息し露國を救ふ爲め須く自由公債に應せよてふ意味の長文の檄文をルースコエ、スローウオ紙上に掲載したり（哈爾賓特電）

◎墺國内閣總辭職

墺太利の内閣は十九日總辭職を申出でたり（倫敦電報）

◎墺軍一萬人を喪ふ

墺太利軍はトレンチノの戰鬪にて一萬人を喪へり（羅馬電報）

◎米國食料品商禁止

大統領に支配權附與

米國下院は大統領が食物及び糧秣の分配を支配し酒精性飲料製造の爲め食料品商を禁止し及び釀造酒類全部を政府に繼承する權力を附與したり（紐育電報）

◎久原の新事業

久原氏の經營せる日本汽船會社は山口縣都濃郡下松町に造船船渠及び製鋼製鐵所を興す事に決定せり（大阪特電）

◎兩紡績合同

尼崎攝津兩紡績會社は兩社の合同決議を總會に於て議決せり（大阪特電）

◎芳賀博士通過

總督府醫院長陸軍々醫總監醫學博士芳賀榮次郎氏は廿五日午後七時來釜同八時三十分出港關釜連絡船さくら丸にて東上せり（釜山特電）

◎八淵蟠龍師退鮮

八淵蟠龍師は廿五日午後七時著列車にて來釜同八時三十分出港關釜連絡船さくら丸にて郷里熊本に歸還せり（釜山特電）

◎露國觀光團來阪

露國觀光團二十五名二十六日來阪せり（大阪特電）

◎臨時國庫證券

發行限度二億圓

廿三日帝國議會に提出されたる政府案臨時國庫證券法案内容如左（東京電信）

政府は輸出爲替資金を圖り又は聯合國に對する輸出軍需品の決濟を便にする爲め運用資金の必要ありと認むるときは五年内の期限を以て臨時國庫證券を發行することを得其の最高發行額は二億圓（但借換の爲發行することを得）又證券は割引の方法を以て發行することを得

◎貯金券法

日本銀行發行

二十三日衆議院に提出されたる政府案戰時貯金券法案左の如し（東京電信）

一、政府は日本銀行をして戰時貯金券を發行せしむることを得

一、貯金券は無記名とし券面金額を五圓とす

一、貯金券は賣出しの方法に依り割引を以つて之を發行するものなり

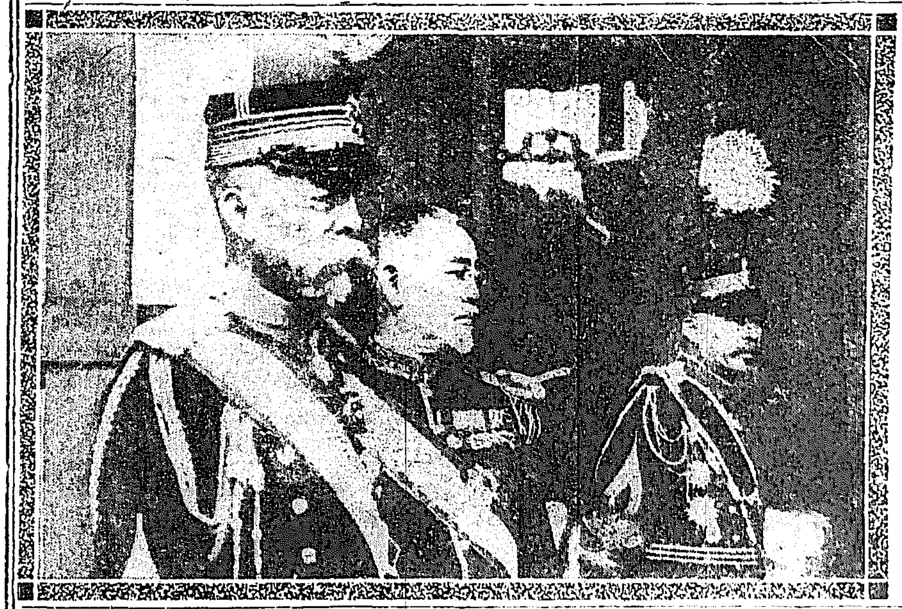
一、貯金券は發行の翌年より十年内に毎年二回以上抽籤を以て之を償還すべし割増金は千圓を超過することを得ず

一、貯金券引換證は無記名とし券面金額を一圓とす

一、戰時貯金券は戰爭終了後一年を經過したる時は之を發行せず

◎長官會議休會

二十六日は定例長官會議日なりしも總督政務總監は共に不在の爲め當日の會議は休會となれり



開院式當日の寺内首相（右）後藤内相（中）大島陸相（左）

◎鐵道課長會議

鐵道局にては二十六日午前九時より長官室に課長會議を開き横井三木和垣加藤和田の各課長出席協議事項に關する協議を行ひ十一時二十分散會せり

◎官製鹽好況

平安南道廣梁灣及び京畿道朱安に於ける官營天日製鹽は其の後益々好況を告げ本年四月一日以降六月二十二日迄の生産額は廣梁灣五千四百十二萬餘斤、朱安六百四萬餘斤、合計六千十七萬餘斤に達せり。之を大正五年の同期間生産額三千九十九萬斤に比すれば二千九百十餘萬斤即ち九割三分を増加し大正四年の同期間生産額千六百九十四萬斤に比すれば四千三百二十三萬餘斤即ち二倍半の増收なり又た本年度生産豫想數量に比すれば六月二十二日迄に於て既に七割六歩餘に相當するの状況にして本年の生産は明治四十一年官營天日製鹽創始以來未曾有の好成績なり

◎御歸還と奉迎

李王殿下は二十八日午後五時四十分南大門驛著特別列車にて御歸還相成る可きは本紙既報の如し當日軍隊に於ては騎兵中隊長の指揮する騎兵半中隊は午後五時二十分迄に南大門驛に到りて儀仗に服し歩兵第七十八聯隊の一箇大隊及び朝鮮歩兵隊は同五時十分迄に驛前中佐指揮の下に南大門驛前北側附近を右翼として南大門通に整列し又野砲兵中隊は同五時十分迄に漢江通り騎兵隊北側廣場に到り禮砲式を行ひ前記の儀仗に加はらざる將校及相當官並に高等文官は通常禮裝にて同五時十分迄に南大門驛に參集奉迎することとなれり

◎奉送迎準備（釜山）

李王殿下には愈々廿七日御歸鮮相成るに付き既報の如く釜山府にては奉迎送の意を表し且御旅情を慰め奉るべく各學校生徒の提灯行列、夜間煙花の打揚をなすべく且釜山稅關前道路に宏大なる歡迎綠門を建設することゝ爲し廿四日より着手し居れるが廿七日午前には落成の筈なり（釜山）

◎秋山大將動靜

新義州滯留中の秋山軍司令官一行は二十六日朝同地發鎭南浦に向へりと

◎立花中將南行

第十九師團長立花小一郎中將は二十六日午前八時四十分龍山發列車にて李王殿下御歸還奉迎のため釜山に向ひ南下したり二十八日午後五時四十分南大門驛著の臨時列車にて歸京すべし

◎中將旅程變更

在鄉軍人講話會中止

田中參謀次長の旅程は變更され二十七日午前八時入京同午後七時五十分發歸京の事となり同日の在鄉軍人講話會は中止する事となれりと

◎松永長官御出迎

松永京畿道長官及び吉田京畿道警務部長は廿八日午前八時卅分南大門驛發列車にて南行李王殿下の御歸還を成歡驛まで御出迎申上ぐ可し

◎隈部大佐歸任期

陸軍省よりの電命により去る十七日東上の途に上れる京城府中なる京畿道警務部長隈部憲兵大佐は來月五日歸任す可し

◎司令官代理奉迎

秋山軍司令官は西鮮部隊檢閲并に地方狀況視察中に付李王殿下御歸還の奉迎は目下南鮮視察中の白水淡少將之れを代理すべしと

◎三宅博士來鮮

總督府囑託農商務省農事試驗所技師理學博士三宅恒方氏は總督府と害蟲類に關する調査打合の爲め二十五日附京城に出張を命ぜられ近く入京す可し

◎森安東領事入京

新任安東領事森安三郎氏は二十六日午前八時五十分著列車にて入京朝鮮ホテルに投せしが廿八日朝出發赴任する由

◎朝鮮貴族南行

伯爵李完用、同李海昌、男爵閔泳瓚の三貴族は李王殿下御歸還奉迎の爲め廿六日朝南大門驛發列車にて釜山に南行せり廿八日午後五時四十分殿下御搭乘の臨時列車に陪乘歸京すべし

◎小日山氏等歸期

國際滿鐵理事と共に入京せる小日山長春驛長矢野同社員等は尚兩三日滯京の上併鐵に關する細目の協定をなし歸

◎服部事務官動靜

服部鐵道事務官は二十五日夜元山より歸京二十六日鐵道局を訪問せしが二十七日午前八時三十分南大門驛發列車にて湖南線視察の途に就き大田より直路東上すべしと

◎鳥取視察團動靜

入京中の鳥取縣視察團今後の動靜を聞くに二十六日は成歡に南下して西井里を視察し二十七日西井里より水原へ二十八日水原より南大門へ二十八日南大門より元山へ後城津を視察し七月七日元山より南大門著入京七日平壤を經て滿洲に赴くべし

◎露鐵運賃引上

當分連絡に影響せず

某鐵道當局者の談に露西亞鐵道の運賃引上げに就ては昨報せしが更に右に付鐵道當局は目下未だ露國鐵道よりは公式の通牒に接せず但しそは連絡賃金に影響なきため通知し來らざるかと思はるも要するに六月廿三日より露國々有鐵道及ウスリー鐵道（東清線を除く）は貨物賃金を從來に比し廿割旅客並に小荷物を五割（昨日某所著電は旅客十割手小荷物十五割とあり姑らく疑ひを存し置く）の引上げを斷行したる模樣なり然れども其の引上げは露鐵ウスリー鐵道東清南滿鮮鐵院線の連絡輸送には當分實行せず開日滿露連絡たる東清南滿鮮鐵院線の連絡には其の適用をなすや否や不明にて目下其の問合せ中なるが恐らく日滿露連絡に適用せざる位なれば其の適用なりと見て可なるべし從つて其の引上げは吾が朝鮮鐵道の連絡運賃計算に何等影響を見ざる譯合なれども多分右は當分の間連絡運賃の適用をなさゞるものにて何れ其引上を交渉し來るべしと思はるゝ節あり

◎東拓改正法案要旨

衆議院に政府案として提出せられたる東洋拓殖株式會社法中改正案要旨左の如し

第一條　東洋拓殖株式會社は朝鮮及外國に對する拓殖資金の供給其他拓殖事業の經營を目的とする株式會社とし本店を東京に置く

第三條中『日韓兩國』を『日本人』に改む（株主に關するもの）

第六條中『東京』を『京城奉天』と改む

第七條中『理事四人以上』を『三人以上』に『監事三人以上』を『二人以上』に改む『副總裁』を削る

第八條中『副總裁及理事』を『理事』に改め第二項を左の如く改む

總裁事故ある時は理事中一人其職務を代理し總裁缺員の時は其職務を行ふ（株主總會關係）

第九條　總裁は政府之を命じ其任期を五年とす

第十條中　副總裁を削る

第十一條　東洋拓殖株式會社は左の業務を營むものとす

一、拓殖資金供給

二、拓殖上の農業水利事業及び土地の取得經營處分

三、拓殖上の移住民の募集及び分配

四、移住民に要する建築物の築造賣買貸借

五、移住民又は農業者に對する物品の供給及び其生産物品の分配

六、委託に因る土地の經營及び管理

七、其他拓殖上必要なる事業の經營

第二十二條（現行法）は『借入金を爲すことを得』とある以外第二項として『東洋拓殖會社は日本勸業銀行の代理店たることを得』と附加

第三十九條は會社設立の日より八箇年間政府より會社に對し補給せし三十萬圓は期限滿了と共に自然に消滅す

第四十條第二項として『政府の所有する株式に對しては大正六年度以降大正十三年度までの營業期の利益の配當をなすことを要せず』と附加

◎水稻植付と雨量

清州地方は廿四日夜より又復多少の降雨ありしも二十五日は終日陰晴定まらずして蒸暑きこと一方ならず尚多少の降雨あるを豫想しつゝあるが今日迄の雨量にては水稻の挿秧不可能にて農民の降雨を待つ甚だしきものあり一般挿秧は既に遲れたるも來月上旬迄に適當の雨量を得ば秋穫に大なる影響なかるべしと（清州）

三島驛にて

權藤四郎介

昨日一天快晴、殿下の御駕に陪して東京を發し富嶽の雄姿を眺めつゝ三島に著し候。三島は東海道五十三次にて名高き處、山光水色甚だ佳なり、富士の雪が解けて流れて河も溪も玲瓏清冽掬す可きもの有之候。夜に入り雨聲溪聲相和して客情殊に幽なり、左の一詩御笑覽を乞ふ。（六月二十二日）

山色蒼々水亦清。古驛風物入詩情。三千里外陪輿客。一夜燈前聽雨聲。

シヤトルより

丹羽生

著米後シヤトルに九日ポーランドに三日滯在―只今桑港に向ひ居候米國文物の進歩は著大なるものに有之學ぶ所多く シ、ポ兩市共に同胞は種々なる事業に從ひ居り一般に評判よろしく特にシ市には同胞にしてホテル、料理屋、雜物等にて米民を相手に盛なる商賣なし居り候を見て愉快に存候特に注意すべきは兩市共に禁酒の州中に在る市にして禁酒の爲め市は益々盛大に相成居候事に有之候（六月五日）

◎長官警務部長出釜

佐々木慶尚南道長官水間同警務部長は廿七日李王殿下御歸鮮相成る可きに付同殿下御迎送申上ぐべく廿六日晉州より來釜大池旅館に投宿せり

【仁川】

▲商議評議員　二十五日施行したる仁川商業會議所評議員選擧に於て當選したる評議員數は内地人二十二名朝鮮人七名にして定員數に對し内地人一名朝鮮人一名缺員なるが右當選者中高杉昇氏は當選を辭し南方竹次郎吉金富三郎の兩氏も又辭退の意あるやに傳へらるゝを以て結局四名の補缺選擧を行ふに至る可し▲新書記長　仁川商業會議所書記長和田友太郎氏は今回辭任したるを以て後任者として府吏員たりし岡本保誠氏就任する事となりたるが同氏は仁川の事情に精通し且つ手腕家なるを以て適任者と謂ひ得べく何れも氏の今後の活動に大なる期待を有し居れりと▲同業組合講演會　仁川公立商業學校にては二十七日午後零時半より二木百三十銀行支店長の支那視察談あり

【鳥致院】

▲小火　廿五日午前二時半本町通り辻川喜助氏方湯殿より失火しアワヤ大事に至らんとせしを隣家の鮮人之を見止め此旨叫びしより直ちに消防組を始め内鮮人多數驅け附け直ちに消し止めたるは不幸中の幸なりき尚ほ主人喜助は廿四日午後十時四十五分發内地に出張したる後なりし爲め家族の狼狽は實に氣の毒なりき▲麥の出廻り　一般に不作不作と呼ばれつゝありし鳥致院附近の麥作は其の後天候の回復と適良好にて平年に比し約二割五分見當の減收にまで漕ぎ附くるを得たるが其の走りものは先々市日頃より市場に散見しつゝあれば遠からず相當の出廻りを見るに至るべく目下の相場は先づ六圓位なるべきが之れを昨年の麥に比較すれば天候適順なりし爲め品質極めて優良にして之れを同相場としても一圓四五十錢の開きはあるべき見込みなり

【清州】

▲水質檢查施行　清州警察署にては夏季衞生取締の爲め市内に所在の井戸水檢査を執行することゝなり過日來之が準備として井戸替をなさしめつゝありしが來る二十九日愈々嚴密なる水質檢査を行ひ飲料適否を區別する筈なり▲組合議員總選擧　鎭川學校組合議員の總選擧は二十五日管理者山田清八氏宅に於て施行する筈にて改選の結果は前議員の當選多數なるべき形勢にて新候補者は兩三名あり▲張長官出發　新任忠北道長官張憲植氏は二十七日清州發秋風嶺に向ひ同地にて李王殿下の御歸京を迎へ同二十八日歸任の筈なり▲第一部長出張　忠北道第一部長齋藤氏は市場狀況視察のため小木曾道書記と共に二十六日清州發三日間の豫定にて長湖院に向ひたり▲長官歷訪　新任忠北道長官張憲植氏は二十五日在清各官署を歷訪し新任の挨拶をなしたり▲清水檢事歸任　去る二十二日より鎭川地方に出張中なりし法院支廳清水檢事は二十五日午後歸任せり

人事消息

▲宋秉畯氏（子爵）　二十五日水原より歸京
▲持地六三郎氏（遞信局長官）　二十五日午後仁川より
▲李完用伯　李允用男　二十五日汶川へ
▲加藤弘氏（貿易商）　二十六日入京油尾旅館へ
▲新井要之助氏（大川機關製紙會社員）　同上
▲小細元司氏（鎭南浦久原製錬所長）　同山本旅館へ
▲神谷大阪商船近海課長　二十六日朝入京朝鮮ホテルへ
▲稻塚英太郎氏（釜山郵便局技師）　二十五日夜入京旭旅館へ
▲神代信平氏（元山郵便局技師）　同上
▲櫻井錦三氏（慶北二重柳公學校長）　二十六日朝入京同上
▲石原龍三氏（淡水公學校長）　同上
▲近川武雄氏（土木技師）　内地に出張中の處二十五日歸任

◎訂正　仁川商業會議所評議員選擧當選者中十票藤木利右衞門とあるは日本醬油株式會社の誤りに付訂正す

時間表
（北行）
（南行）

李王殿下 廣島御通過
瀨戶內海畵帖並に漆器を獻上

李王殿下は二十五日午後四時七分廣島驛著師團長以下文武高官在鄕軍人團儀仗兵等警備奉迎し師團長は同十四分發宮島驛迄扈從嚴島に向へり殿下には嚴島に御一泊あらせらる、廣島縣より瀨戶內海畵帖嚴島の寫眞同知事より漆器を各獻上せり(廣島特電)

汽船百餘隻の擊沈
を目擊して無事歸還せる諏訪丸

日本郵船歐洲航路定期船諏訪丸は二十五日朝神戶に歸著せり警報攻の航海にて困難なりしが一週間に汽船百餘隻の擊沈を目擊したりしも無事に歸著するを得たりと(大阪特電)

豪雨の襲來を見ん
朝鮮中部の氣象は雨季の狀態

二十五日夕刊記載の如く二十四日夕景より雨模樣となり二十五日朝まで可なりの降雨を見たが同日內地の西部に凝滯してゐた高氣壓が太平洋方面に去つて

◆その勢力が 薄弱となると同時に二十六日に至つて非常に深厚な低氣壓が北滿洲方面に出現し續いて又揚子江の下流に當つて低氣壓の襲來を見、更に地方的の小低氣壓が各地に簇生したため二十五日朝から引つづき二十六日の午前六時に至る間朝鮮各地共曇天が續き

◆就中京城は 地形の關係上京城は雨が多く二十五日來から二十六日午前六時まで二十四時間內の降雨量は十八粍を示し續いて仁川九粍であつた而して二十六日になつて京城は暫らく歇んでゐたが、午前時三十二分から更に降つて來たが久しく旱り續きであつた關係から

◆二十六日來 の氣象は雨期に於けるそれと同樣の狀態となり朝鮮中部地方は今後兩三日降り續くかも知れない、又今日の雨は京城の奧地は可なり多く降つてゐるらしいが、今日のやうな降り方の雨は從來の經驗によると

◆非常な豪雨 を齎らしてくるかも知れない、而して二十六日の午前中は仁川、木浦、滿洲にあつては濃霧に閉された模樣である云々(京城測候所員談)

高麗丸より投身

岡山縣吉備郡總社町角谷てつ(六〇)は夫峰藏と共に數年前朝鮮に渡り京城本町にて商賣をなし居たるが二人の仲に子供無き爲め大正四年十二月石田福一(三五)といふを養子に貰ひ受け同町にて入齒業を營み居たるが兎角福一と折合惡しく爲めに時々逆上して病氣となることも間々あるより前漱は鄕里に歸さんと共に廿日午前六時三十分高麗丸にて釜山港を出帆し下關に向け航行中同十一時五十分頃沖の島附近に差掛りたる頃てつの姿見えざるより直ちに事務員に報告し船內隈なく搜索し尙ほ船長は停船して海上をも搜索せしも發見せず多分投身ならんと同日午後五時三十分下關に入港と共に水上署に屆出でたりと(下關)

スミス飛行御覽の李王世子殿下
◇京都深草練兵場に於て=殿下とスミス氏との握手(下)

虎疫患者は陰性

大邱東城町二丁目理髮業裴相鎭の妻朴妙蓮(四二)は既報の如く疑似虎列拉として二十二日大邱隔離病舍に收容され大邱慈惠醫院にて菌の培養中なりしが患者は同夜九時死亡したるも菌培養の結果陰性と決定したり當局者は尙ほ念の爲め糞便を警務總監部に送りて目下檢鏡中なるが患家附近の交通遮斷は警務總監部の試驗の結果通報あるまで解除せずと因に該患者は慶山より買ひし朝鮮餅を食して發病せしものなりと

大豹を射止む

黃海道瓮津郡上睡面鷲月里附近に猛獸出沒して被害甚しからざるより新院憲兵派遣所にて二十一日之れが狩立てを行ひたるが午後三時頃同面七峯山にて一頭の大豹を發見し中尾上等兵及び三支江面居住の佐藤某の兩名にて見事射殺せしが身長約六尺あり稀なる逸物なりしと

怪しむべき 青年士官の頓死

福知山步兵第二十聯隊第一大隊少尉島山古通(二八)は二十四日下宿先にて頓死したるより憲兵隊は活動を開始せり(大阪特電)

◇惜むべき金春の櫻間氏◇

◇廿四日午後十時東京に於て逝去したる櫻間金太郎氏は能樂界の耆宿として知られた人であつた◇目下金春流の宗家で重きを爲す人は奈良の金春道太郎氏及び東京の金春廣成氏の二人があるが死んだ櫻間氏は奈良に居て[illegible]櫻間林太郎櫻間左陣兩氏と並び稱せられた人であつた◇故氏は昨年の[illegible]東京[illegible]寶生流の舞臺にかける[illegible]間氏の手盛である[illegible]現面はシテ[illegible]篠原の合戰敗れ[illegible]源氏の方に手[illegible]太郎光綜木曾殿の御前に參つて申すやう[illegible]

太刀山一行 乘込近づく
花柳界の美形連其の他關係連途中まで出迎ふ

太刀山伊勢の濱一行の東京相撲は二十六日著電によれば郡山に於いて二十七日目興行中なる由にて同地を打上げ愈いよ豫定の如く二十七日午後七時二十分南大門驛着の列車にて乘込み來るべく

▲華々しき出迎 天氣都合さへよければ二十八日初日を出すに至るべし、乘込み當日は勸進元及び先發の協會員は素より花柳界の美形連その他の相撲關係者は何れも途中まで若くは停車場に出迎ふべく殊に明治屋京城出張所にては美々しく裝飾せる自動車五臺を出して、社員は素よりその他のキリンビール關係者一同揃ひの法被姿にて自動車に分乘し歡迎旗三十旒を押立て驛に迎へ景氣を添ふべしと言へば華々しき乘込みとなるべし

▲相撲場の準備 相撲場は昨日來の雨天のため全部の設備は終はざるも已に大體の骨組だけは完成したり、然して今回はキリンビールにて表看板及び內部の裝飾等悉皆引受け華んたる積樽等をも爲す由なれば光彩を添ゆる事なるべく尙今回の設業には協會にて雨天の用意のため大天幕を持ち來り觀覽者を覆ふ等なれば多少の降雨なれば取組を續け得べし

▲團體見物多し 初日を出すに先ち各方面の人氣は頗る引立ち居りて棧敷の申込み非常に多く團體見物亦續々申し込まれつゝあるがその主なるもの初日にありては太刀山後援會の五百人、料理屋藝妓連中の惣見、二日目太刀山後援會千人寄にして明治屋にては地所中四日間棧敷十數間を買ひ切り毎日取引先を招待して慰見を爲すなどありて活氣づき居れり

▲觀客の便利 相撲場の物賣りと言へば例年不當なる値段を吹きかけて一般觀客に不快の念を催さしむるを以て常とし居れるが、今回は是等の惡例に鑑み、中茶屋所屬の中賣一同には番號を記したる胸章を附さしめ場內揭示以外の金錢を請求したる者は客よりドシ〳〵その不都合の通告を乞ひ親切と便利とを期する方針となれりと

漁業違反十九名

慶北迎日郡浦項面鶴山洞居住迎日漁業組合長增野熊雄(四三)は鮮人十八名と共に去る十四日午前六時より十五日午後二時までの間に同郡大松面松亭洞の沖合にて地曳網を使用し鯷兒千五百貫を漁獲したる事發覺し浦項憲兵分隊に捕へられ慶尙北道漁業取締規則違反に依り增野は罰金五十圓鮮人十八名は夫々笞刑に處せられたり

讀者文藝 (一等五十錢 二等繪葉書)

▲謎(喧嘩とかけて。)
○山吹と解く
心は花は咲けど實らず(一等) 龍山道廳內 美の字

▲[illegible]の不見を解く 心は[illegible] 龍山 [illegible]

▲米國のカーチーヤー氏と解く心は[illegible] 龍山 朴 念 仁

▲鯨飾發達と解く心は打たり切たり 鐵南浦 拜 水

珍らしい朝鮮の鳥
小鳥の中の王と呼ばれる鵙

◆オホカラモズ 鳴禽類中鵙科に屬する小鳥である、鵙が鳥の中の王と云つてもよい、卽ち其の性頗る猛鷙であれば此の鵙は小鳥の中の王と云時によると小鳥をも捕食する、鵙の中でも最も大きくて翼長四寸以上ある、體は背面淡灰色で眼先より耳羽に至る過翼及び尾羽は黑色である、尙翼に三個の白色翼斑がある事が特徵である普通獨棲して

◆樹木の頂に 居つて常に餌とすべき昆蟲や蛙や小鳥を探して居る、飛翔迅速であつて捕獲した食餌動物を樹刺に懸けて置く奇習がある『之を鵙の早贄と云つて居る』鵙の贄案山子の肩にさしてある』などはあはれな鵙の贄を歌つたものである、學校の標本を見ると四時朝鮮に居る樣であつて夏は主に山地に冬は主に平地に棲む

◆其の鳴聲は 頗る喧しく長い尾を上下に振りながら『ツルユー〳〵』と云ひ急に叫ぶときは『シエック〳〵』と云て甲高く冬などの冴ねた大空に響き渡るのを聞くと一種寂寥の感を催させる、此の鳥に最もよく似たオホモズの一種は他鳥の假聲をつかふ事が上手なので歐羅巴地方では放鷹者が之を馴養して鵙として鷹を捕へるに用ふるそうである、內地でも普通の鵙を馴養して小鳥を捕るに使つて居る、巢は樹枝上に造られて

◆春の初めに 卵を產む、東南西比利亞、蒙古、支那等廣く分布して居るけれども內地には居らないと云つてよい、朝鮮には此の外に普通のモズ、チゴモズ、リツキウモズの三種棲む、英名はロングテールド、シユライクである。

入江氏令孃葬儀

總督府理財課長入江海平氏二女淸子孃(當年)は豫て病氣療養中の處藥石効なく二十五日夜死去、二十六日午後四時妙心寺に於て葬儀を執行せり

▲廿五日長谷川町の日本組合基督教會で地久節の奉祝祝賀會があつた▲內地人の所謂クリスチャンレデーが數番の祝辭演說があつてこれで式を終らうとする時▲朝鮮人の婦人が一人私も一言祝ひを申上度いと壇上に現はれた▲其婦人は年の頃三十二三で血色の惡い如何にも悲觀顏であつた▲演說は朝鮮語で金女史が通譯をした▲其女が一度口を開くや實に條理明斷言語爽やかに其用語も又極めて華麗であつた▲內地人のレデースが皆な草稿と首つ引きをして一句吃々と蚊の鳴くやうな聲をして述べたるに對照して非常に立派であつた▲此の朝鮮婦人は勿論草稿など携へて居らなかつた音吐朗々として堂內に響き渡つて其の姿こそレデースなどのやうに綺羅びやかでなかつたが光り輝く光彩を放つた▲殊に嬉しかつたのは此の朝鮮婦人がクリスチャンとしては日本の國體を理解して居つた事であつた

南鮮沿岸濃霧季に入る
連絡航路を妨げらる

南鮮沿海は愈濃霧季節に入り廿五日船暈[illegible]に於て東萊丸を港外に[illegible]同船は無線電信の裝置き爲め陸上との連絡を爲す能はざるより釜山連絡[illegible]常より約三時を遲れ赤峰平島の影より姿を現はし漸やく午前十一時三十分を經て發車したり、さくら丸は平[illegible]

九二二等客
一等二名(孫安三郎、佛國人[illegible])二等(五十七名)吉村作太郎、小宮德太郎、池田清作、中川忠松、小竹政治、[illegible]、松田學四郎、向江康、前川[illegible]三郎、[illegible]
一等(三名)[illegible]新井要之助、加藤弘二郎 二等(十四名)[illegible]村田直造、加藤升夫、同眞子、角田ます子、[illegible]松三郎、中村平、渡邊弘、松原くに、背田政治、今村[illegible]、小田平、宮崎文治郎、英國人フレンドマーク 三等(四十八名)

【讀者文藝】課題募集規定
[illegible]

▲豆粕[illegible]

商況

深川在米特電
二十六日現在高
朝鮮米 八六、六七七
內地米 三九、○三七
臺灣米 一、七五四、八二○七

東京公債直取引
[illegible] 九五、二○

東京期米特電
二十六日後場
[illegible]

大阪株式
二十六日前場 二十五日
[illegible]

大阪三品特電
二十六日前場
[illegible]

大阪期米特電
二十六日前場
[illegible]

下關期米特電
二十六日前場
[illegible]

雜報

綿糸布好勢
中の大阪綿糸布相場は[illegible]

米棉高に綿糸現物 九圓五十五
[illegible]

錢の同値
先物九圓七十錢の入電なり

期米大波瀾
[illegible]

反撥を來し反響却つて
[illegible]

錢ど爆發 二十圓〆一
[illegible]

大豆品薄高
[illegible]豆は目下に昂騰せるに次いで奧地[illegible]鮮內產は既に[illegible]

出拂ひ之等の好況を傍觀 二三十錢方昂騰
[illegible]

澱粉新物氣配 奧地物搬出
[illegible]

五十萬函は產額約百 九圓前後
[illegible]

滿洲粟思惑高
[illegible]

持品は殆ど庫入
[illegible]

安値より五六十錢方の引戾に至れり
[illegible]

製粉は強硬
[illegible]

滿州粉に先物は益々昂騰
[illegible]

生牛安に肉高
[illegible]

却て緩和 幾分宛下落
[illegible]

市中屠殺數
[illegible]

落ちに六圓處へ下 精肉割高
[illegible]

梅干は品切れ
[illegible]

頗る強硬 新梅
[illegible]

桃林檎走り
[illegible]

京城正米
[illegible]

南大門の廻穀
[illegible]

釜山穀物(廿五日)
[illegible]

仁川期米
二十六日前場 (大變動強硬)
大阪天候曇天[illegible]八錢安に寄付[illegible]十八錢さ新高値の臨時暴騰入電に買物多く更に二十圓〇二錢さ暴騰[illegible]八節五十九錢と安[illegible]

市場零聞
大變動強硬
[illegible]

利喰に賣物多く又新規
[illegible]

俄然昂騰す
[illegible]

跡安に人氣益動
大阪の暴騰を受け
[illegible]

賣り盡し遂に突込
[illegible]

賣を警戒
[illegible]

▲降雨來る
朝來の曇天は雨模樣となり[illegible]正午過ぎに至つて降り始めたり[illegible]

仁川米豆取引所
二十六日の八月限

前場 寄付	十九圓四十五錢
止め	十九圓七十一錢
高値	二十圓〆十三錢
安値	十九圓四十一錢
出來高	八萬六千六百五十石
一節	十九圓七十八錢
二節	十九圓七十八錢
三節	十九圓九十三錢

二十五日後場 平均値段
[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人
高田仲買店
仁川海岸町三丁目
電話長一〇〇
電話長一一九

天氣
曇り小雨
▲六月廿七日[illegible]

午前六時頃より釜山港外は濃霧に閉され同日午前入港の連絡船さくら丸は港外に於て進路を妨げられし爲午前十一時三十分漸やく入港したるが……時三十……北行列車……合はせ連……を採らん……しも遂に同……船の入港不定なる爲め列車は約二十五分無事入港し旅客郵便物等は午後……十一時發列車に接續せしめたり（釜山）

◉連絡船上陸客 六月廿五日午前十一時三十五分釜山入港さくら丸二等客……三等百八十三名）六月廿五日午後十一時入港高麗丸一……

（本船は濃霧のため約二時間延著せり）

◉南鮮の模範漁村

春は山櫻夏は躑躅＝年內生洲には潑溂たる鮮魚

南鮮に於て漁業根據地の模範と稱せられたる數島村は統營の西南に碁布羅列せる多島海を航すること十六海里にして右方に一大島の横はるを見之れを欲知島と云ひ同島の左約三海里を隔つる北方に大小の二島あり之れ即ち數島村の所在地なる蓮臺島にして兩島相擁して一水を通じ自然の瀨戸を爲す殊に西方の水路は狹くして僅かに七八十間に過ぎざるを以て自から兩島の山岳障壁となり如何なる風向にも何等の影響を蒙むることなく秋波、碧瀾を湛へて四時を通じて漁船の避難、碇泊に頗ぶる便を得べく海水深き處は十四五尋に達し淺くも四五尋なるを以て一般船舶の通航に差支ふるが如き憂なく漁船の集合多き場合は

◆三百隻を容る ゝも優に餘裕を見る同港は潮流常に快通して氣候亦た温暖なるを以て周年生洲數十個を設備し撥剌たる鮮魚を貯飼し時々運搬船に因りて釜山市場に供給しつゝあり 加之同島の全山は椽樹鬱蒼として春は山櫻咲き匂ひ、初夏は躑躅の間に咲き亂れ老鶯春の名殘を語り、秋は滿山紅葉して錦を織り出し、冬季は温暖にして絕えて風雪の到るを知らず實に蓬萊の仙境に在るの思ひあらしむ、然るに漁季一度來れば柔櫓欸乃瀨戸を出づれば天惠の漁場目前に展開して釣に網に漁獲は漁船に滿載して凱歌を奏しつゝ歸航し來るの壯觀は此地ならでは見る能はず、此地附近の漁期は鯛縄四月より十一月迄、すゞき、ちぬの一本釣は七月より翌年一月迄、ひらそ縄は七月より十一月迄、ふか縄は七月より十月迄、さより網は十月より翌年三月迄、さより網は十月より翌年三月迄、さば網は四月より七月迄、いわし網は四月より十月迄。

◆周年漁季を追うて漁撈に從事するを得此等の魚類は同地なる釜山水產株式會社出張所に買收して一應生洲に貯へ徐々に釜山に運搬して釜山灣內の同會社活洲に收容するを以て近年如何なる時化の日と雖も潑溂たる生魚の市場に上ぼり都人士の食膳に配せられ淺酌低唱の興を助け得るは全く斯かる設備に因れる賜に外ならず、晩春初夏の鰯網の漁獲は惣て煮干、搾粕に製せられ、鯖の季節には五六十貫の大魚一日に數十尾を漁せらるゝ時ならぬ漁夫の惡比壽顏に接すべく、鯖は乾燥して支那に輸出し肉は鹽として鮮人の需用に供す秋風小夜更けて蘆荻戰ぐの頃ともなれば、ひらそ、たひ縄に移り即ち秋漁の好節に入る斯く周年間斷なき漁獲ありて安全の居住をなし得るの根據地は全鮮に稀なりと云ふ可し當ては同地は餌料に乏しく遠きは光陽灣、麗水方面より近きも統營、三千浦に餌料の供給を仰ぎ苦心勞費を投じ居たりしに近年餌料の產地を附近に發見したる爲め今や

◆漁夫の憂苦を除くを得たりと、現在同地に常住せる邦人漁夫は戸數二十五六戸人口百餘名に達し此等の生活上に要する物資は水產會社出張所にて魚價の中より米、味噌、醬油等の日用品を供給し生活の安全を計り居り既に同村にて學校組合を組織して學校を設立して兒童の教育を爲し居れるも今回新に校舍の新築を計畫し丘山絕景の位置に敷地を定め既に土工に著手し居れり由來朝鮮各地の漁業地は公私の力を盡し經營に努めつゝあるも何れも所期の効果を收むること能はずして衰態觀るに足るものなき今日に於て同漁業根據地の

◆發達斯くの如く好成績を得たるは釜山水產會社が明治四十一年に鮮海漁業の發達を豫期し陸上漁村の設備に伴うて補林の計畫及び發動機船を以て根據地より市場に運搬を爲す機關の設備等の經營宜しきを得たると同社歷代の重役並びに最初立案者たる現山本營業部長等の指導監督の然らしむる所與に佐々木慶尙道長官は同地を巡視して其功を賞し詳細の實況を總督に具申せられたりと聞けり、同社は同根據地の間に絕わず廣近丸を運航せしめ居れるが釜山統營何れよりするも僅かに七八時間にて達するを得べきを以て熱鬧の市井に倦怠する都人士は時に閑を偸み同地に一遊を試み細漣に鷗鷺を洗ひ萬頃の白波に迷ふ宿鷗に詩情を寄せ潑剌たる鮮鱗に清醇を味ひつゝ伯倫を學ぶも亦一興ならん（釜山）

渚の砂

◉狂人の慘劇 大阪府豐能郡細川村辰巳とみ（五六）方の雇子寅三郎（二六）は五年前から精神に異狀を來したので檻置治療中であつたが十二日拔け出たのでとみが追つ掛けて行くと寅三郎はとみを猫と思ひ違へて池田町の紫竹川に投り込み其儘直樹になつて川邊郡川西村の本妙寺の床下に隱れて居つた所を捕まつた

◉雪の中に首 靜岡縣島田町の安井榮吉（三〇）が製材の爲め十九日七千餘尺の仁田嶺に登ると雪の中から人間の首四個を發見した多分注界屋一家が自殺したか行倒れたのであらうと

◉腐小豆の中毒 岐阜縣稻葉郡加納町永田勝作（二八）方で十八日饂飩に小豆を資込んで食つたところ家族四名が中毒し雇人土屋次郎（一七）は絕命した小豆が腐れて居つたからだといふ

◉恐ろしい亭主 函館區大森町西林市太郎（三四）は鐵道機關夫だが妻さくらとの間に三人の子があり生活難の爲め妻が發狂したのを狐憑きだと思ひ一室に監禁して唐辛子で燻して居つたのを警察署から發見された

◉檢事から人夫 大正三年迄北海道小樽區裁判所の檢事であつた明法學士岡田信太郎（三六）は官職罷免後遂に零落して昨今は鐵道で人夫となつてゐるのを或る人が氣の毒がつて大阪商船横濱支店に就職する樣運動してやつたさうな

◉女敎員制服 岐阜縣揖斐郡では此の程女敎員の制服を定めた何でも醫師の手術服のやうな筒袖ださうな

◉敎諭の妻自殺 千葉縣太田中學校敎諭野村邦巳妻さだ（二四）は二十一日夜久慈郡佐竹村で汽車自殺を遂げた原因は先妻の子を養育中家庭の不和から此の始末に及んだらしい

◉揃ひの扮裝で田植唄

全北細川農場の此頃

全北益山郡大場村は由來農事上に種々なる有益の試みをなし之が爲め內鮮人共頗る生活上に餘裕を存し人心も至極穩かで兩者の交情融和も他の比でなく模範農村の名聲を博して居るが何分鮮人には未だ舊守の弊多く現今の如き生存競爭の次第に劇しくなつたのにも頓著せず農家の最も繁忙な植付時でさへ婦人は矢張り家庭で食事や見守などして滅多に田植にでも手傳ふことなく況んや他家に雇はれて賃銀を得やうなぞとは夢にも考へない狀態だから之は是非共內地人同樣に野良稼に精を出さす樣に導く必要ありとて

▲細川侯爵家農場 で今年始めて新しき試みをなすと共に決し自方說得の結果新調の上衣と手拭を各自に給與し晝食と午後のお八つをも與へ普通賃銀の十二錢を仕拂ふと云ふ頗る優遇の條件で卅餘名の應募者を得て本月十五日頃から實行した處最初の約束であつた十七八歲から廿四五歲迄の若手は一人も來ず卅歲前後から五十歲位の者計りであつたが初めての試みであるから詮方はないと使用して見ると日一日と作業の能率も增進し成績頗る良好で特に一本植の如き緻密な仕事には驚くべき効果を見支給品と勞銀を合算すると

▲一人一日五十錢 に相當するから男子の賃銀と同樣だが作業能率と成績の上から打算すれば却つて廉價であることを證明したとて野旦主任始め場員は其見込の當つたことを喜んで居るが最も喜ぶべきは十八日の如き降雨中にも敢て倦厭の樣子もなく平氣で聲高々と田植唄を合唱し乍ら快調に欣然として立ち働く樣は寧ろ涙ぐまるゝ位である斯くに法を以てすれば其事此調子で何の支障もなく進んで行くのである細川農場今回の試みは些々たる事の樣で實は異常な出來事と言つても過言でないと信ずるのである（大田）

◉食器を水で洗つては不可ぬ

椀皿箸等の食器類を多くは水でお洗ひになる樣ですがアレは此の頃のやうな虫が出たり黴が生えたりする時には若へ物ではありますまいか

◇西洋人 は食器の消毒は餘程嚴重でありまして總て使用する度に湯で洗ひ更に熱湯で消毒をしてゐます料理屋杯になりますと蒸汽消毒を行ふのが普通で御座います

◇布巾杯 も一般の家庭では一度新しいのを使へば其れが黑くなり破れる迄お使ひになつて如何かすると使用の度毎に碌々洗ひもせず其儘布巾竿に掛けて置く方もあるやうです

◇斯樣物 で食器を拭いてゐては夫れこそ危險至極と申さねばなりません布巾は使用すれば其の都度湯で能く洗ふのが至當かと思ひます

◇梅雨時 はわけて物の乾かぬ時で御座います故布巾の掛場所も餘程考へて見る必要があると思ひます陰に面した薄暗い所杯は面白くありません矢張明るくて風通しの好い處に限ります

◇食器や 布巾等に注意しても炊事の際に用ふるエプロンや前垂が汚れて居れば何の効果もありませんから之も始終綺麗にし惜しみせず洗つて日に曝さねば可けません

◇女中に 炊事をさせる場合はエプロンを使はせるのが衛生上からも働き工合からも前垂をし襷がけで重々しく仕事をするよりも便利で自由に働けると思ひます

◉加藤神社の祈禱 三十日午後七時より龍山加藤神社にては茅輪を設け大祓式並に修祓式を行ふ由關係者には大祓札無料にて分與すとの事

◉紅療法 京城本町二丁目上山下紅療院出張所に紅療法を施し居る九州別府分院長中村節氏の說明に曰く『凡ての病氣は患部から中樞神經に影響を及ぼし其の反應にて病原となり中樞神經の外皮に紅瘢を塗擦するにより必ず瘀血に現れて鬱血するもので其狀態により之を治する者は非常に快さを感じ病む個所の血液循環が盛になり漸次病氣が癒る原因療法だ古城管堂氏林文太郎氏は腰の痛みが去つた胸胃腸●腳氣●神經衰弱●婦人病に最もよい何病でも頭だけの療法だから婦人病患者には最も適當な治療法である』云々

△排め△……同廿八日 同廿九日
△俗論……同廿九日 同卅日
△川柳「……」同卅日 同一日
△物は付「無くなるものは」同一日 同二日
△……「……と掛けて」同二日 同三日

東京大相撲
木戸無料入場券
（京城興行中何日にても通用）
東京大相撲京城興行中何處の店からでも
サッポロビール大瓶半打
御買求めの御方へは相撲木戸無料入場券壹枚無代進呈致します
サッポロ アサヒ ヱビスビール釀造元
大日本麥酒株式會社
京城出張所

明君道中記

第百八十八席　田邊南龍口演

三宅宅兵衛は素裸體になつて土俵に上り 宅「イザ拙者が代つてお相手いたさう 侍「オー如何にもお相手いたさう、充分にお出下さい、拙者も遠慮はいたさぬから 宅「仰せには及ばん、イザ參られよ」双方立上つて互ひに手を擴げ手の裏を見せ合ひます是は體術の法と見ゑる、見て居た見物は判らないから ○「妙な角力でござんすな、互ひに禮儀を述べて兩方立てしまつたが何と云ふ角力でせう △「妙な角力ですなと見て居る内に双方は氣合を計つて居つたが、宅兵衛が彼の侍の胸板へ打かゝると彼の侍は仰向けに仆れたから其の上へ乘りかゝつて頸筋を掴み 宅「何うだ恐入つたか 侍「何に是しきに恐入るものか、未だ〳〵」と云つて居るから見物は愈々驚いて ○「仆れて參らねと云ふ其麼角力があるものか」然うだらう、角力では無い體術であるから、仆れて負けといふ譯はござゐません、内に彼の侍エイと一聲懸けたかと思ふとゴロッところがつて上になつて居た宅兵衛が下になり、下の侍が上になつて押へ付け 侍「何うだ參つたか 宅「未だ〳〵、是しきのことで參る樣な拙者で無い」と云つて居る内に又跳返して上になり稍暫くの間といふものは土俵の上で上になり下になり爭つて居たが、腕前は互角と見ゑて勝敗はつきません、双方共に後へ退つて兩手を突へ參つた恐入つたと云つて居ります、何方が負けたのだか勝つたのだか行司にも判らない妙な角力があつたもので、此の時長七郎は桟敷より聲をかけて 長「イヤ双方共大儀であつた、勝負は相判つたから此處へ參れ」兩人は桟敷へ上つて彼の侍 長七郎の前に出で 侍「手前こそ未熟な腕前を以て勝負を願ひましたは恐入る、拙者は名古屋城内にて體術の指南を仕りまする植村惣右衛門と申す者にござゐます 長「イヤ尾州家の指南番植村と申す者であるか、予は松平長七郎長頼であるぞ此處なるは三宅宅兵衛田村宇平次と申して予の家來である 惣『偖は北の丸御若館樣でござゐましたか、知らぬこととは申しながら御無禮を働き恐入まする幸ひ大納言義直公も在國にムりまする故是より名古屋城へ御發來を願ひ度ムいます 長『イヤ伯父上も御在國であつたか、久しく目通りをいたさぬ故懷しく思ふ、然らば名古屋へ參るであらう案内をいたせ 惣『有難き仕合に存じ奉る』茲で植村惣右衛門が案内をいたしまして宮の宿を立出で、名古屋城内へ御出なさる、惣右衛門より此の事を大納言義直公へ言上いたしますと、義直公聞し召して 義『松平長七郎が城内へ參つたとあるかイヤ珍しきことである、予も會たく思ふ早々此處へ召伴れよ」惣『畏り奉る」と案内をいたし長七郎久々にて義直公の御前へ罷出ました 長『久々にて麗しき御尊顏を拜し恐悦至極に存じ奉る 義『昇れは長七郎であつたか最も立派に成長いたしたり、かゝる姿を忠長が見たことならば嘸ぞ喜ぶことであらう、親子とは申しながら忠長の面貌に生寫し、亡き忠長のことを思ひ出した 長『恐入りました 義『コレ一同の者此は大納言忠長の遺子長七郎長頼であるぞ ○『ハッ 義『コリャ長七郎長の道中嘸ぞ勞れ居るであらうから悠々休息をいたせ」と山海の珍味を積んで御盃を下され、宅兵衛宇平次等へも目通りを許され御酒を下さる、長七郎は十日程名古屋城内に足を止めて居りましたが、何時まで斯くてあるべきにあらず御暇を給はつて出立いたしました。

花柳病 皮膚病　須古醫院　京城府明治町二ノ三二（元貸養館跡）　電話一一〇二番

齒科診療　野田齒科醫院　本町一丁目三越向　電話一〇四七番　齒科醫士 野田應治

牛乳　病院用 御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

曆

六月二十八日 木曜　舊五月十日 辛丑　[illegible]

演藝案内

▲京城本町 壽座　電話七五八番　大阪大歌舞伎澤村源之丞一行　六月二十日より廿八日迄日延なし　廿七日（六日目）藝題　前 源之丞十八番の 鍋島猫騷動 [illegible] 切 奥州安達ヶ原 三段目 ▲特等九十錢 △一等七十錢 △二等五十錢 △三等二十錢

▲黄金館　電話 二六三七 六五二　天然色活動寫眞株式會社京城登山一手代理店　歐米魔術大博士松旭齊天一總員六十餘名 [illegible] 世界的大魔術師松旭齊天一は愛に天覧の光榮に浴し第三回渡米研究 [illegible]

御成座　電話一一九一 [illegible]

初日滿員御禮　大阪毎日新聞連載小説　德田秋聲先生傑作　家庭悲劇　誘惑　七卷　原作のまゝに脚色せられ比類なきものとして好評嘖々たり　見逃す勿れ　封切寫眞を　大正館

有樂館　[illegible]

世界的大魔術師　松旭齊天一　御見落なき樣廿八日限り　黄金館

滿員御禮

二十二日	初日	大入
二十三日	二日目	滿員
二十四日	三日目晝夜	滿員
二十五日	四日目雨天	滿員
二十六日	五日目	滿員
二十七日		
二十八日		

大正館

月やく　なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす　京城黄金町三丁目　山田しづゑ

櫻谷質舖　秘密ヲ守リ丁寧ニ精々高價ニ御預リ可申候也　京城北米倉町三六（舊前小路）　電話二八四番

女子の本分

▲料理の出來ぬは女一生の損
▲禮法を知らぬは女一生の恥

▲一擧兩得の妙案　女子の本分は、婦道を守り、家事に專らなるにあり、生花、音樂等の如きは、趣味を向上せしむるに必要ならんも、更らに肝要なるは、家庭料理を研究し、禮儀作法を習得するにあり。女子にして此の心得なくば、如何に趣味の向上を努むるも、遂に實務的婦人となる能はずして、女子の本分を盡し難かる可し。家庭料理の研究は日々三度の食事を、經濟に、美味に、また滋養あらしむるを得べく、禮儀作法の習得は、日常の座作進退に庭あらしめて、恥は恥なからぬ要意たる可く、女子たるもの、必ず習得せねばならぬ事どもなり。されば婦人外近來の傾向として、女子は何人も料理の研究と、禮儀作法の習得に心を用ひつゝあるが如きも、何れも適當の講習紙きに惱むが如し。

▲板垣伯夫人は　此點に留意し、同所よりに東京割烹講習會が設立し、家庭の婦人に、簡易なる料理と、禮儀作法とを、有意に講習し得るの便宜を與へ、實務的婦人の養成に心を盡しつゝあれば、今左に同會の家庭料理講義錄の内容を紹介すべし。

▲年中行事ご料理
▲正月と道徳　▲一月の節句　▲端午の節句　▲盂蘭盆　▲十五夜　▲七夕祭　▲重陽の節句　▲七五三　▲大祓　▲除夜　等の年中行事に應じて、其の料理を味ある說明をなし、附するに其の料理法を以てし、尚

▲誕生祝　▲婚禮式　▲出產　▲還暦　▲年賀　▲米の祝　等の人一代の行事も、悉く詳細に說明し、其の料理法を講述しあり。

▲日本料理科
▲各種會席料理 ▲三汁八菜 ▲二汁七菜 ▲一汁五菜 ▲一汁三菜　等の日本固有の料理を始めとし ▲家庭向簡素料理 ▲即席料理 ▲晩酌料理 ▲季節飯の炊方 ▲老人、小兒、病人の食物等、實益と趣味を兼ぬる記事頗る多し。

▲西洋料理科
▲歐洲各國料理 ▲米國の料理 ▲正餐の献立 ▲略餐の献立 ▲日常料理 ▲一品料理 ▲パンの製法　及び珈琲紅茶の入れ方まで西洋料理に關する事項は、詳細に說明しあり。日本料理、禮儀作法の欄と相俟つて、本講義錄の中心記事と思はる。

▲支那料理科　支那料理は、最も進歩せる料理なり。本講義錄は其の點に [illegible]

▲和洋菓子科　實用に家庭の需要を兼れたる高尚なる和洋兩種の製法を講述す。

▲漬物　漬物は日々の食卓の必要品にして、鹽加減等の頗る困難なるは誰も手を下したるものに等しく味ある所なり。本講義錄がこの點に心を用ひたるは嬉し。

▲禮儀作法　料理の講義錄に此の欄あるは、同會目的のある所を察し得べく、講師の苦心も亦此處にあるべし。此の欄には
▲日常進退の座作 ▲男女著衣の心得 ▲和洋食卓法 ▲嫁入り、婿取 ▲人の心得等まで、凡ら心得ねばならぬ禮儀作法に、悉く關入にて說明しあれば、何人も容易に會得するを得べし。

▲本講義錄の特色　本講義錄の特色は、其の記事が總て實習の結果たる事なり。同會には相應の女子師範學校あり又講師研究會あり、何れも斯道の專門大家を網して、其の講義を實習せるものなれば本講義錄が他の講義錄と全く撰を異にせる點に記事もしたるが本講義錄なり。されば初心の人も容易に會得し得べく、演技を以て觀る文字を読みて容易に了解されるれば、何人にも容易に理解さるべし。

▲會員募集　目下同會は會員の大募集中にして、此の際の入會者には、種々の特典あれば、入會の好機會なるべし。會費は一ヶ月三十五錢、一ヶ月三回六十錢なり。

▲入會の手續　極めて簡單にて「ハガキ」に姓名を明記して申込めば直ちに會員として送本し、會費は後に其の地の郵便局より振金に行く故、何の手數も無し。

▲五大特典有り　入會金免除料理器據選呈 六ヶ月前納者には家庭寶典を一ヶ年前納者には記念メダル及び婦女要鑑を進呈す

▲内容見本　希望者には、請求次第無料進呈すと云へば、遠慮なく申込まるべし。尚ほ同會は
東京本郷元町一ノ三
東京割烹講習會
振替口座東京一九四一〇番。電話下谷五六九二番なり。

購買入札　朝鮮總督府　募集日程材料（柱木、雜等）右購買ス詳細ハ大正六年六月廿六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

告　在鄉軍人　帝國在鄉軍人會理事田中參謀次長閣下來ル二十七日午前八時南大門着驛ニ付分會員ハ同驛ニ參集歡迎セラレ度シ　帝國在鄉軍人會　京城分會　龍山分會

鑛山　分析鑑定　測量設計　鑛床地質調査　鑛區選定　（外鑛務に關する事業は迅速に應ず）　熊本縣　岡　學士倶樂部　釜山鑛業所　（釜山幸町二 電話二五七番）

山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　定價十五錢 郵稅二錢　京城太平通 振替三〇〇番　京城日報社代理部

耐久力二倍の靴　三倉式經濟で優美價至廉　生命も尺　も長い　靴

特製尺三寸迄合 東洋ボックス 五圓一均　東洋ボックス短靴 金貳圓八拾錢　東洋ボックス編上及短靴 金参圓五拾錢

紳士向優良品ボックスカーフ製　編上及深ゴム 金四圓 金五圓　同キートカーフ編上深ゴム及トンビ形編上 金五圓 金六圓　一枚皮深ゴム及トンビ形編上 金五圓 金六圓　穿き工合よく型新しく耐久力二倍價格は極めて廉なる深ゴム靴は其の均一靴は弊店の特製に係るものなれば特に御安價賣す（定價表御請求次第）御注文は足袋の文數と甲の高低御報知ありたし　送料一足十五錢 新領土廿五錢 引換料廿五錢 引換料四十五錢

東京本郷區東片町九二　三倉商會高等靴店　振替二〇五三九・電話下谷一九七番

年金　恩給 長期 五ヶ年迄立替　詰所 大阪道頓堀大黒橋北　淺屋兩替店　京城永樂町二丁目商品陳列館南ノ坂　淺屋京城代理店

りん病　ばい毒　本藥は殺菌力強大にして些の副作用なく急性慢性淋病及び各期梅毒性諸疾患に服用し最も安全迅速に治癒の目的を達す　一週分　淋病 梅毒　普通 金壹圓二十錢 特製 金貳圓五拾錢　京城永樂町二丁目　京城ドラッグ商會

皮膚病 黴毒 痳疾 泌尿器科　注射療法 手術療法 並に内外科一般診療　京城太平通二丁目（電話三五八番）　扇田醫院　院長 醫學士 扇田豐

雨具一切　□柳製專賣品トランク　□雨合羽防水布引マント　□魔法瓶及中瓶取替　□其他旅行用具一切　京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番

内科 小兒科 婦人科 眼科　京城南山町二ノ四六（三越合宿所上）　一元堂醫院　電話一一二四番　小山亨

▼朝鮮ノ行政區劃一覽出ヅ▲

司法大臣松室致閣下題字　國學士加古貞太郎先生序文 法學博士小原直先生序文　法政大學校友 越智唯七編纂

新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

大正六年四月十日現在總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金參圓　朝鮮總督府及各道廳ニ於テ一大綜合セラレタル府郡面里洞ト土地調査局ノ調査ト相俟テ朝鮮全道ノ行政區劃ハ確定セリ然レドモ未ダ一目瞭然タルノ書籍ナク執務上參考上不便此上ナキ折柄本書ヲ編纂セリ本書ニハ道、府、郡、島、面事務所ノ所在地ヲ示シ末尾ニ朝鮮ノ沿革、日鮮、淸、西曆ノ詳細ナル對照年號ヲ示シ面數、人口、戸數、道路、里數、各道ノ盛衰、交通、產物、名所舊跡、温泉其他ノ概況ヲ揭ケリ、各官廳ヲ初メ政治家、實業家、學者、交通、產業其他苟モ朝鮮ニ關係ヲ有スル人ノ須臾モ缺クヘカラサルノ必携書ナルコトヲ敢テ多言ヲ要セサルヘシ此際廉價ニ等シキ價格ヲ以テ發行セリ部數ニ限リアリ諸賢速ニ購求セシレンコトヲ請フ

發行所　京城府公平洞五番地　中央市場　電話一四五〇番

眼科專門　入院隨意　京城明治町東拓横（電話二〇四四番）　江頭眼科醫院　江頭宮雄　日曜祭日午後二時迄

車輛 印刷 機械油 輕重油 製造販賣　浪速グリース 本日西部朝鮮支那一手販賣　信濃電氣 副令光線印カーバイト 一手販賣　本店 門司市錦町 電話五一五番　出張所 支那青島野山通 電話七四番　製油所 新潟市關屋大川前 電話三三番　岸商店　光線カーバイト南鮮一手特約店　福榮商會　釜山辨天町 電話三三九番

時計卸商　登錄商標 K　京城黄金町二丁目　喜多金光堂　電話一〇一五・替振京城七八二

資本金 貳千貳百七拾萬圓　積立金 壹千〇五拾五萬圓　株式會社第一銀行京城支店　京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）　支配人 西村道彦　銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候　内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候　明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

診察時間　自午前九時至午後六時　初診の御方は可成午前中　京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）　シメノウチ齒科醫院　電話八二一番

京城日報

第三版

六月廿七日（夕刊と合せて八頁）

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢

廣告料 五號活字一行金六拾錢

發行兼編輯人 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

統一主義

京城日報

我帝國の、新領土植民地を治むる、日尚ほ淺く、事物猶ほ、創草に屬するものあり。是れ今日、吾人が頻りに、其の整理刷新の必要を説く所以なり。顧ふに、一方面一局部の事を創むるに當りて、諸般の施設、當時に在りては、皆、適當の處置たるを疑はずと雖も、歲月を重ぬるに從て、事物推移し、就中、交通機關の發達經濟關係の進歩に伴ふて、茲に必要なりしもの、今は其必要なく、前に故障なかりしもの、今や扞格齟齬甚だ多くして、相調和すべからざるに至るもの、一々枚擧に遑あらず。吾人が、今日を以て新領土植民地、諸機關整理刷新の時機なりと爲すは則ちこれが爲めなり。

吾人の、我帝國の國外經營は、統一主義を取らざるべからずと爲すや久し。我が亞細亞大陸經營は、我朝鮮を基礎と爲し、滿洲、蒙古、北支那諸地に對する、諸般の施設、皆此基礎の上に立ち、互に其連絡と調和とを保ちて、以て其功を全くす。其の交通機關相分立し、其金融機關相隔絕し、其行政組織相孤立するは或場合に於ては、其の已を得ざるを見るべしと雖も、其隔絕分立は、時に同功相妨ぐることなき能はざるのみならず、動もすれば、輒ち、其睽離と磨擦との弊に堪へざらむとす。是れ其の時に及びて、之を釐革するの必要ありと云ふ所以なり。

今日、我經濟上の諸機關は、其の足らざるを憂ふるよりは、寧ろ其の多きに過ぐるを憂ふるの實あるに拘はらず、世間却て、益々其を增加することを、是れ圖るものあるは、吾人の常に疑訝に堪へざる所なり。之れ試みに其一例を擧げむか、我朝鮮には、國外金融中心機關たる、朝鮮銀行あり、國外經營を擔當する所の東洋拓殖會社あり、固と是れ、我亞細亞大陸經營の爲めに、其根基を成すものにして、其の滿洲、蒙古諸經營の爲めに働きて、其機能を全くすべき地位に立つに拘はらず、世間更に、蒙古經營の爲めに、特殊の拓殖會社を設け、滿洲蒙古の金融業の爲めに、新たなる銀行を創立せざるべからざることを主張し、其隙繁煩瑣、開くに堪へ□□□□、吾人敢て、是等企業者の□□□の存する所を、諒解せざるにあらずと雖も、國外經營の實際問題としては此に與みする能はざるなり。由來、金融機關に尚ぶところは、其資力豐富、其信用堅實にして、其業務範圍は廣大なるも、其中心一に歸するにあり。事業會社の恃む所、亦當務事業を統綜して、其紀綱を成し、處務上の支吾扞格なきにあり。且、我朝鮮銀行と曰ひ、東洋拓殖會社と曰ふ、其名は是れ、經濟上の法人なれども、其實は即ち帝國の國外經營機關なり。帝國の國庫は其資力を助け、帝國の法制は其特典を保固す。其の作爲する所、一に國家の意思に基かざるべからず。國家も亦、其を扶植誘掖して、其功を全くせしむるを期せざるべからず。然るに、今日の特殊機關の增加に熱中するものは、即ち此根本要義を忘却して、其枝葉に馳せ、國家の機關を相侵蹈せしめ、若くは私營事業をして、國家機關と相淩蹴せしめむとす、寧ろ誤ずや。

朝鮮の教科書（七）

編輯課長 小田省吾

一 普通學校教科用圖書（其七）

第二、國語讀本（全八冊）從來內地に於て出版せられたる國語讀本汗牛充棟も啻ならずと雖も何れも皆國語を以て母語とする兒童を目的としたるものにして母語を異にするものに適用すべき國語讀本の編纂に付攻究したるもの少し。而して普通學校國語讀本は母語を異にせる朝鮮人兒童を對象として編成したるものなるを以て此點に於て從來と趣を異にせる一種の國語讀本と稱すべし。尤も本篇の冒頭に記せし如く、舊學部時代に編纂したる日語讀本ありと雖も、當時の普通學校生徒は多く書堂（漢文の私塾）を經過し漢字の知識を有せしを以て、該讀本亦漢字を以て日語を敎ゆる媒介とし、漸次假名を敎ゆる方針を取りたるが爲、其の敎授の方法は勢ひ翻譯敎授に據らざるべからず、隨て其の進歩も顯著なるを得ざるの感あり。將來益〻他民族の間に使用せらるべき使命を有する我が國語の敎科用書として決して全きものと謂ふを得ず。依て朝鮮總督府に於ては新に國語讀本を編纂するに當りたる方針を採れり。

一、本府制定の表音的假名遣法を用ひて從來母語を異にせる朝鮮人兒童に學び易からしむ。

二、翻譯教授に依らず專ら直觀的直接教授をなすに便なる樣編成す。

三、話方に重きを置き出來得る限り速に兒童に教室內必要の會話を授け總ての學科を國語にて教授するに差支なからしむ（實際本書に依りて教授せし經驗によるに何れの普通學校に於ても兒童入學後約三ヶ月にして略日用の國語を話し國語を以て教授するを得べし）

四、朝鮮人の困難なる又は誤り易き發音を調査し、最も入り易きものより始めて漸次困難なるものに及ぼし、且つ正確なる發音練習に留意す。

五、文體は卷七前半に至るまで口語體とし、同卷後半より平易なる文語體を出し、卷八には稍〻文語體を多くし、假名遣も卷七後半より歷史的假名遣を使用し以て世に慣用せらるゝ假名遣にて記せるものを讀み得るに至らしめむことを期す。

六、漢字は普通學校國語讀本全八冊を通じて約千五六百を提出し、國定小學讀本に比し遙に多からしむ之れ普通學校には別に朝鮮語及漢文の教科目ありて、漢字の學習左程困難ならず、亦其の使用の機會比較的多きに依る。

七、假名は片假名より始め平假名は第二學年の初（第三卷）より提出し、楷書體假名の普通のものは之を觀文にて知らしむることゝす。

八、國語讀本の內容は修身書と相待ちて品性の陶冶、國民性の涵養に資すべきものなるに付、教材の選擇は力めて此の點に留意し、又上に述べたる如く、本書に於て本邦歷史、地理の大要を授くべき教材を加へたり。其の他朝鮮に在りて殊更緊要なる森林のこと道路のこと等に關する事項を含むこと亦少からず。

九、本書に於て最も注意すべき教材は內地朝鮮間の親密なる關係を示すに足る古來の傳說史話は多く之を選み、國民的感情の養成を助くることに務め近世に於ける我が國力發展の事實並に日韓併合の次第も何れも之を記述せり。又仁德天皇の御仁政、菅原道眞の誠忠の如きもの之を掲載す。

十、附錄として卷七には本邦行政區劃を加へて我が國の領土觀念を明確にし、卷八には神代御略系、歷代天皇御略表を加へて皇統の連綿たるを知らしめ、共に兼て本邦地理歷史教材の參考とす。

以上の外、編纂上種々なる注意改良を圖れる點少からず。試みに每年文部省が全國各師範學校をして實地使用上の經驗に基き、國定教科書に關する改良意見を提出せしめたるもの、中、已に今日本府編纂普通學校國語讀本に於て實行せられ居るもの少からず。今左に之を列記すべし

一、每課本文の長さに短く切ること
二、課本に文字語句內容等に關する練習を掲ぐること
三、上欄には新出の漢字のみならず新出の語句語法なども掲ぐること
四、挿畫を入るゝこと
五、文章中の挿畫を小字に印刷する事
六、卷末に新出漢字表新語表を附すること
七、卷末に假名遣一覽表を添ふること
八、文語と口語との對照表を加へて文語の學習に便にすること
九、課の末尾に語法練習を出すこと
（大正三年度文部省報告に依る）

隣邦を奈何…對支國策を確立せよ（十三）

不干涉主義

中島生

支那の民心は何の日に統一せられ南北の爭は何の日に終熄し、政治機關の圓滑なる運用を見るであらうか、蓋世の英傑出づるあり、風雲に馭御して覇業を就すまでは、或は北方の天下たり、或は南方の天下たり、有爲轉變命に次ぐに革命を以てし、有爲轉變の歲月を繰回すであらうか。隣邦の事治定せざる間は、日本の懊惱焦慮之を散ずるに由なきも、さりとて今日の狀勢に於て、商擇くて堪らぬ乍らも、濫りに政治的干涉がましき態度を執る譯にも行かぬ。昨は北方の勢力を信じ、之を助長するも、今は南方に權力を得ば、昨の巡撫力は怨恨を買ふに過ぎず。反覆起伏常なき隣邦の政情に對しては、愁に手を出して手を燒くの愚は避くるを賢なりとす。絕對に手を出さぬか、大に手を出すか、二者孰れか一たるを要し、出さねでもなく、出すでもない態度が、最も不可である。若し支那の內政に干涉するのならば、非常な決心と覺悟が無くては叶はぬ。苟くも干涉する以上は、帝國の威信面目にかけても、行り通す丈けの決心を要する。罷り間違へば、高壓手段に訴へても、押し通す丈けの覺悟を要する。併しこれは、如何に大膽なる政府とても、容易に行れる事ではない。現寺內々閣が不干涉を標榜するは大に良しとするも、不干涉の爲めの不干涉ならば、言ひ換へれば、積極的でなくして、消極的不干涉であるならば、吾人は之を卑屈的對支外交と謂はざるを得ない。之に反して、不干涉主義は即ち帝國の支那に對する積極的大方針に伴ふものであるとせば、其宜しきを得たるものと謂はねばならぬ。

徹底せざる我れの內政干涉或は交涉事件が支那の民心を刺戟して、反日本感情の根を深くした例は、支那に行つて、而り見る事ができる。一例を擧ぐれば、記者が湖南の長沙に行つて、岳麓書院を訪ふた時の事である。岳麓書院と云ふは、高等師範學堂の事である、その學堂の大玄關に不關一間四方もあらう大衝立の置かれたるを見て、聊か面喰つた。その衝立にて最近國恥史綱を題して、いろいろの事が書いてあつた。冒頭に斯う云ふ事があつた。「我國秦漢より以來屢々外族に陵られ、海洋既に通じて患を受くる尤も劇し。今外交の大事、道光中葉より民國四年に至るまで凡そ止まるものを撮驟し題して國恥史綱と曰ひ、之を講堂に揭げて諸生の覺誦に備ふ云々」其次に條目を記して、道光二十二年英江寧條約があつて、咸豐七年英法聯軍廣州を陷るとか、同治十三年琉球臺灣の役さか、光緒十二年緬甸を印度の屬たらしむとか、同二十年代が高麗朝鮮に內亂發し出師して之を討つ、日本も亦到るとか、云ふ樣な外交關係事項を列舉してある。最後になつて居るのは張膽明目して曰く『民國四年日本歐洲戰亂に乘じて靑島を攻陷し、二十一款を提出して我政府を迫脅す、五月九日政府已を得ずして之を許せり。按ずるに此約は尤も千古の奇辱たり云々』此の衝立を記者が見て、憮然たりし時は、恰も日支親善論が高調されて居た時で、選日特使として江大燮氏が行くとか、交通部の人選が行くとかで、日本では歡迎の方法を凝らして居る最中であつた。長沙で一夜三井物產の招待を受けた時、支那側の官憲及び民間有力者も同席したので、記者は湖南交涉署の交涉科長の鄒といふ人に向つて、岳麓書院の例の國恥史綱、あれは今日お互に困りますねと、言つたらば、日本語の解る若い鄒先生は、いや洵に御尤で、私共も何とかして彼れを引つ込めさせやうと思つて居ますが、併し校長なかなか頑固で肯きませぬ。あれは別に御國排斥の爲めではありませぬと、少々まごついて居た。彼の衝立があつたとて、問題にするにも當らぬかも知れぬが、所である。將來子弟陶冶の任に當るべき師範を養成する學校に於て、彼のやうな物を保存してあれば、元來士氣の熾んな湖南人の事であり、之に刺戟されて發奮する者はありても日本に感謝の念を持つ者はあるまい。記者は當時湖南邊では大概に對日感情が良くなつて居ると聞いて居つたのであるが、後に日支實業銀行が長沙に開店した時、長沙人が非常に之に反對して該銀行に對してボイコットを始めたと云ふ事實が斷れた。支那人に歡待ると思つて安心して居ると、飛んだ事になる。その飛んだ事も、當方から種子を播いた結果でないとは申されない。

近江永源寺より

盧洲 寶全

過般君臨宮に拜別後は豫定の日程を了へ大郎、盧山、谷山の巡錫を了り講演の上渡航、博多聖福寺にて一週間休養五月末歸山致し候。鱗瞰臨（?）なさして操觚禱鮮巡錫なる漢文紀行凡そ美濃紙にて二十枚餘の者昨今漸く脱稿致候漢詩も四十首餘有之候其二三を高覽に呈し可仕候（六月十八日）

過玄海洋
黑風吹船也何然。生死從來任去留。
假使逆浪跳剏起。玄玄玄處自悠々。

大連市
文物燦然湊大連。塢頭林立百千船。
往來集散宛如市。喜見邦家握此權。

五首錄三
當年義烈動天關。一死殉難酬國恩。
無用銅人何及錯。須課不松祭忠魂。
頑強敵壘質難攻。苦戰半年兵氣充。
請看王師連捷力。非神非鬼在幟忠。
煥發巍然白玉山。表忠塔聳碧空間。
誰知我大和魂潔。雨洗風磨冰雪節。

安東縣鎮江山臨濟護國禪寺
一口並呑鴨綠江。臨濟護國禪寺
看看臨濟將軍力。龍騰虎穴手能扛。
截斷中流分滿韓。鐵橋跨水捲驚瀾。
東方帝國通西路。一線如繩萬里寬。

平壤牡丹臺戰跡所見
當年吶喊牡丹臺。鐵火如花絕壁摧。
算子陵門左軍敗。清兵四面楚歌哀。

永明寺
兵火當年曾不壞。永明禪剎太淸快。
坐看乙密臺畔雨。非去非來絕淨界。

京城明月舘臨普茶讌
月下和逢互曾談。鳳肝龍髓酒方酣。
盤中味々袛應喫。莫問前三與後三。

漢江
京城東去漢江來。濃々溶々碧美哉。
八道人心若相似。何管大地惹塵埃。

短夜

——五の日十の日會——

○たまに來てとなかのなに話やら短夜　浮碧
○草履をはいてゐる短夜阿岐　櫻
○空が赤い短夜の庭に立つ　句坡　良
○涙ためて寢入りたる短夜の　虎　平
○交代の工夫提灯しをれ短夜　鳥　柳
○短夜の足さき包まうとする裾　目　耳
○露頭の左右に小さき花明易き　一　堂
池

婦人世界

七月號

（夏の準備に着手せよ）

暑中休暇と子供　名流夫人實驗談

世界各國婦人の夏の生活

初夏に多き子供の下痢

（七月中の緊急問題）

七月中の家事　試驗の準備…中元の贈答…品物の記帳　召使の奬勵…佛參と宿下り…土用干の事…隙間と風通し…旅先の選定…留守番の務…冷藏箱…加藤博士夫人 加藤高子

中元の贈物　贈つて喜ばれるもの（名流夫人の實驗談）貰つて重寶したもの

白布を眞白にあげる秘傳　大矢好治

七月の園藝

七月中の總菜料理　櫻井ちか

（家庭に適切なる問題）

子供に小動物を愛護させよ…　高島平三郎

人に嫌はれる腋臭の治療法…　岡村醫博士

貞操婦人　新渡戶博士

家庭小說 小松嶋　村井弦齋

（其他趣味實益滿載）

七月號　定價一冊金二十錢　郵稅二錢　東京京橋區南傳馬町實業之日本社　振替東京三二六

中學世界

七月號

新學生訓 學問は活動なり……浮田博士

人の輕重 三宅博士

△支那の民族性二十條……中村敎授

△梅雨と黴菌……草野博士

△日本アルプスの傳說……小島烏水

四十年前の地中海巡航 井上良馨

湖沼調査中の喜劇 田中阿歌麿

足跡の學術的研究 廣田花崖

▲デありますか物語……與野他見男

▲劍岳に登るの記……宮野見

▲魔球（野球小說）……武者

▲一高受驗記……

▲お國自慢競べ……新

▲給仕の見た一高の食堂

定價二十三錢 郵稅二錢

東京 博文館

富源保存論

最新刊

米國ウイスコンシン大學敎授 ハイズ博士著　法學士 笹川潔先生譯

▲菊判上製美裝全三百冊紙數六百二十頁 圖版二十個 ▲正價參圓 送料十二錢

米國の出版界に於て近年稀觀の名著として知らるゝハイズ博士の富源保存論は今や雄健にして現代なる日本文となりて讀者の眼前に現る、抑天產は無盡藏に非ず、苟も之を以てせずんば一國の富源久しからずして枯渴すべく、若し枯渴すれば國力の衰微となり、文明の退却となるべし、本書は富源を鑛產、水、土壤、森林の四つに分ち有效に之を利用し經濟的に之を保存節約するの方法を闡明せるもの立論剴切、識見卓拔共に趣味津々たる所悉く最新科學の原理を離れず、専門家は勿論一般人も一讀すべし、今や我國富は濫費、妄用其極に達す、現に石炭の如き多くも四十年の壽命を保たずといふに非ずや、米國に在りては早くも本書の刊行と共に前大統領の國富保存運動となり、上下の富源に對する政治家企業家及一般民衆の觀念一大革新を生せり、我國家亦之に倣ひて均しく覺醒する所なかるべからず、本書を譯刊して汎く我政府と國民とに提供せんと欲する所以を推知せられよ。

發兌 東京日本橋區大傳馬町　振替東京一〇七〇八番　明誠館　寶京城振替二五七三　電話六八四、二六八六　大阪屋號

各種書籍用品絹紬紙類〇〇　各種萬年筆販賣及修繕〇〇　京城永樂町二丁目　電一七四〇振京一〇八　堀崎商店

商業登記公告

商號新設

商號 麗商會、營業ノ種類 人參販賣及貿易、營業所 京城府明治町貳丁目六拾六番地、商號使用者ノ氏名住所 ……

合資會社設立

合資會社 ……本店 京城府本町壹丁目五拾壹番地……目的 ……

……

大正六年六月貳拾貳日登記

……

大正六年六月貳拾參日登記

……

京城地方法院

京日案內

●看護婦三名見習數名募集す 志望者は履歷書携帶本人來談あれ 仁川 佐藤病院 186

樂器萬年ペン物理機械膽寫版の修繕 本町ツボヤ書店工作部 電話三〇七 149

◉求職人 西洋洗濯及洗張に精通せる職工一名至急入用俸給は技術次第 北米倉町 忠州錦町 鳳屋洗染工場 193

●●朝鮮語科 英語科 三新ヶ月學期 各級補缺 募集 京城青年會 192

◎バランス讓受したし（ミリ十分の一以上のもの）太平通二丁目 三二三番地 與倉へ 御通知を乞ふ 191

店員 五六名 年齡十八九歲より二十五六歲迄 至急入用 但し確實なる保證人を要す 仁川新町 津田兄弟屋 187

年金 恩給 低利 最長期 即時立替 全額 極秘 證書 保管 ▲京城永樂町一 商品陳列館表門前下角 江州屋本店 166

第卅九回特別帝國議會

▲貴族院(二十六日)

貴族院は二十六日午前九時開會徳川議長より奉答文捧呈の次第を報告し優渥なる勅語を賜りたる旨を陳べ一同は起立して敬意を表す次で議長は寺内首相を麾くやフロックコート姿の首相は謹嚴なる態度を以て左の演説を爲せり

▽寺内首相演説●●●●●

諸君茲に第三十九回帝國議會開かるゝに際し諸君と相見ゆるを得るは本大臣の光榮とする處なり内外に對する政府施設の大綱は本年一月當議場に述べしを以て此所に重ねて絮説せず爾後專ら之が遂行に努め外に對しては常に東洋大局の保全を顧念し聯合與國との關係を持續して交戰の目的を達せん事を期せり此の間に於ける戰局の移動は露國の政變と米國の參戰を以て其顯著なるものとし特に米國の參戰は聯合諸國と共に最も歡迎する所なり支那の政爭は尚未だ安定するに至らざるも我政府は善隣密接の關係に鑑み鞏固なる政府の下に永く治安を保ち彼我の利益を增進せん事を希望に堪へず本大臣は時局の甚重大なるを思ひ臨時外交調査機關の特設を奏請し練達堪能の士を奏薦して臨時外交調査委員會を組織し既に會同審議の端緒に就くを得たり前議會に提出せる六年度總豫算は不幸成立を見るに至らざりしを以て政府は前年度豫算を施行する爲め追加豫算を編成せり而して政府既定の政策に關し又は時局其他の關係上一日も忽せにす可からざる各種施設の費目は追加豫算として諸般の法律案と共に提出せり皆是れ國家緊要の施設にして遲延を許さず幸に審議協贊を與へられん事を●●●首相の演説終るや高木兼寬男の國民保健上の施設に對する質問あり之に對し首相は倘詮議の上適當の所置を執る可しと答へ次で江木千之氏●は現內閣が衆議院解散の理由は不信任案を以て大權を干犯せるものと認めたるに依るかとの質問あり寺内首相は解散の理由は既に非常時同院に於て演説せる處に盡くと述べ倘ほ江木氏より大權干犯論其他に就きて七八回に渉り質問し寺内首相後藤内相大島陸相より交々答ふる處あり次で議長は本野外相を麾くや外相は大略次の如き外交方針に關する演説を爲せり

▽本野外相演説●●●●●

帝國の外交方針は前議會に説明せし所と何等の異る處無し只其後に生せる主なる外交經過を報告せんに米國が全力を擧げて人道の爲め獨逸帝國を屈服せしめんとする大決心を以て戰爭に參加せるは聯合與國の目的を達する上に大なる効果有る可きを信ず日米兩國間の親善の機運は益々增進しつゝあり次に支那は獨逸との國交斷絶に關し日支兩國間に存する親密なる關係に鑑み帝國政府の意見を求めたり仍りて政府は支獨國交斷絶の得策なる可きを回答したり又同時に支那政府は希望として關稅引上、團匪事件賠償金支拂延期及び同條約中に在る條項の變更に對し帝國政府の考慮を煩はすとの申出ありしも政府は之等の問題は聯合列強との協議後に回答する事とし目下尚懸案中なり支那の更に一歩を進めて參戰する事は支那自身の解決す可き問題なれども内爭の爲未だ決定せざるは遺憾なり次で露國に於て政變あり新政府成立され新政府は舊政府の締結せる國際約條を尊重する事を聲明せり帝國政府は事態を充分調査したる後新政府を承認せり帝國は聯合與國と共同の敵に當るに於て機宜の措置を執り海軍の一部を地中海に派遣し歐洲の大戰に參加せしめつゝあり。世界の戰爭は何時終結す可きや豫期す可からざるも戰爭終了と共に幾多困難の湧出す可きは疑ひを容れず我國民は世界の恒久的平和を確立して帝國の權利を防護する爲め最善の努力を爲さゞる可からず

本野外相の演説終るや杉田定一氏は政府の行動は支那内政不干涉の聲明に反せずやと質問し本野外相は支那政府より意見を徵せるに對し帝國政府は之に回答せるも是れ前議會に述べたる方針と反するものと認めずと答へ高橋是清男は米國大統領は參戰の際議會に於て贖價の宣言をなし烈國も之を承認せるが如くなるが日本が何等の意見を宣せざるは如何と問ひ本野外相登壇、予の知れる限りに於て何れの政府も大體に於て之れ講和條件を宣示せるものなしと答へ次いで日程に入り毛利公爵以下請暇の件を可決し政府の提出案

一、阿片法中改正法律案
一、銃砲火藥取締法中改正法律案
一、日本勸業銀行法中改正法律案
一、農工銀行法中改正法律案
一、北海道拓殖銀行法中改正法律案
一、產業組合法中改正法律案
一、工業所有權戰時法案

は夫々特別委に附託する事として十一時卅分散會せり(東京特電)

◎平和運動は反逆行爲

露國コサック大會は宣明して曰く「平和促進運動は其内容の如何を問はず露國に對する反逆的行爲なり」と(倫敦電報)

◎田中中將動靜

田中參謀次長は二十六日朝大連より來奉せるが豫定を變更して直ちに安奉線に轉乘せり或は五龍背に一泊するやも知れず(奉天特電)

▲安東縣通過 支那滿洲各地視察中なりし田中參謀次長は二十六日午後六時三十分安東縣通過歸東の途に就けり(安東特電)

◎國澤副總裁消息

國澤滿鐵副總裁一行は二十六日朝安東縣通過歸連の途に就けり(安東縣特電)

◎興銀副總裁通過

日本興業銀行副總裁小野英二郎氏二十五日朝北京より奉天に來着二十六日夜安奉線にて歸國の途に就けり(奉天特電)

◎川上理事露國行

川上滿鐵理事は或る重大なる用務を帶び二十六日午前奉天通過露國に向へり(奉天特電)

◎京畿畜產額

京畿道管內に於ける主要畜產物の內牛皮牛骨牛乳豚毛其他の大正五年中產額を聞くに左の如し

▲牛皮 產出數量百八十五萬八千百九十五斤にして此の價格百二十七萬七千七百五十三圓、內改良乾皮數量百二十八萬三千九十九斤此の價格九十二萬八千三百二十二圓にして在來乾皮數量五十七萬五千九十六斤價格三十四萬九千四百三十一圓なり ▲牛骨 產額數量二百四十六萬八千八百十九斤此の價格五萬一千十三圓 ▲牛乳 產出數量十三萬一千五十八斤にして此の價格六萬六千五百三十四圓 ▲豚毛 產出數量一萬九千百三十三斤にして此の價格二千八百五十八圓を算し ▲豚脂 數量四萬五千三百三十一斤にして此の價格八千十三圓 ▲膠 產出數量一千五百斤にして此の價格四百七十五圓

◎國稅徵收好況

京城府稅務課に就き同府管內に於ける大正六年度第一期分地稅徵收狀況を聞くに地稅に於ては調定總人員二萬九百二十七人此稅額八萬九千六百二十八圓六十九錢に對し本月二十二日現在納入人員二萬二百五十八人此の納入稅額八萬八千百七十九圓六十九錢納入步合九割八分三厘弱にして之を大正五年度同期現在の納入步合七割七分二厘強に對比する時は頗る好成績なりと謂はざるべからず而して此の未納入金額一千四百四十九圓に對しては滯納處分中に屬し近日差押へ處分約九十件の公賣を斷行すべしと尚ほ家屋稅に於ては調定總人員二萬二千五百九十八人此の稅額二萬七千五百六十八圓に對し本月二十二日現在未納者二千八百四十九人此の金額三千五百六十二圓にして即ち納入額に對する未納人額の步合一割二分九厘を算し昨年度同期日に於ける未納步合三割五分七厘に比較する時は實に二割二分八厘の未納額減少にして是亦地稅同樣の好成績を擧げたりと

◎布教所信徒數

總督府の調査に係る大正五年末現在鮮內布教所、布教者及び信徒數を見るに左の如し

▲佛教● 各宗各派を通じて二百九個の布教所と二百八十二名の布教者あり信徒は内地人十萬三千八百餘人、朝鮮人七萬九千八百餘人外國人二十人、合計十八萬三千七百二十三人にして其の内信徒の最も多きは朝鮮寺刹の七萬三千七百餘人なるが布教所及び布教者最も多く且つ信徒數朝鮮寺刹に亞ぐは眞宗本願寺派にて布教所四十六、布教者六十一名、信徒四萬三千二百餘人を有せり ▲神教● 天理、神理、金光、大社の各教を合し六十五の布教所と百三名の布教者あり其の信徒內地人二萬七千八百餘名、朝鮮人八千五百餘名、外國人五名計三萬六千三百五十九名にて天理教最も優位を占め布教所三十三、布教者七十二名信徒數二萬三百五十八人を算せり ▲基督教● 各教派を合し布教所三百六十四、布教者二千三百五人、信徒二十八萬三千二十二人あり其の内日本メソヂスト教會、日本基督教會及び日本組合基督教會等日本側教會は合計五十八箇の布教所と七十九名の布教者ありて一萬二千八百九十二名の信徒を有せり

◎物價大勢騰貴

京城に於ける五月中物價に付其筋の調査を聞くに之れを前月に比し朝鮮生產品に於て騰貴八品保合四品低落六品を示し輸移入品は騰貴六品保合六品低落三品にて大勢は依然騰貴の狀態にあり乃ち騰落並に保合を各品別に示せば左の如し

▲生產品
▽騰貴八品 [illegible]
▽保合四品 [illegible]
▽低落六品 [illegible]

▲輸移入品
▽騰貴六品 [illegible]
▽保合六品 [illegible]
▽低落三品 [illegible]

▲騰貴十四品の內 ▽玄米●精米● 內地相場の昂騰麥作の不況及び稻苗の不足に刺戟せられ且つ手持筋は先高見越しの賣惜しみとなり先月に比し三圓內外騰貴せり ▽大小麥● 大小麥共に前月に比し一圓內外の騰貴を見たり之れ本年の作柄悲觀より來る內地相場の強調を示し注文續々來するも產地在荷手薄のため到着少なく爲めに右二圓方の騰貴を見たり ▽豆● 大小豆亦之れに連れて氣配強硬なり ▽麥粉● 輸出好調に連れ品不足を訴ふるに至り五月に入り更に一袋三四十錢方の騰貴を見る ▽絹絲及び和金巾● 一般品薄は依然として動かず爲めに漸騰を續くる商狀にて京城の市價も頗る手堅く前月來の一本調子にて上騰を續けつゝあり ▽打綿● 前月より氣配強く益々原綿相場に接近し來り本月中旬以降又々暴騰を續くる矢先に一方品薄を告げ居れば當分下落の見込みなし ▽燐寸● 本品は前月珍しく市價低落せるも内地輸出港より黄燐々寸不積載の飛報至りたるは在荷拂底を見越して思惑買ひ盛んとなり自然ボスク猿印の如き又々高騰を見るに至れり

▲下落十品の內 ▽薪炭● 前月來下押し一方にて季節柄賣足鈍く市價漸落しつゝあり ▽牛皮● 追々惡氣候に向ひたると軍靴問題未解決の爲め軍需品原料たる普通品の下落を見たり ▽牛蠟● 賣行不振にて氣配軟弱なり ▽石炭● 需要季節去り値下を見る ▽金物● 春來上進一方にて各品共高値不攜けのため茲に反動安となり又鐵下落のため鐵類約一割方引下げ洋釘又下旬より幾分弱含みとなりたるが浪板は差したる變動なし

◎中旬鮮鐵收入

六月中旬に於ける朝鮮鐵道收入は乘客人員十五萬二百人にして此の賃金十三萬二千圓貨物噸數六萬四千二百三噸此賃金十八萬七千百圓にして收入合計三十一萬九千四百圓なるが之を前年同期に比較すれば收入合計十二萬四千九百五十四圓を夫々增加したり倘ほ一日一哩平均二十九圓九十六錢にして前年同期に比し十一圓六十四錢の增加也

◎局長會議日程

郵便局長會議は持地長官統裁の下に同局各課長、各關係主任、郵便爲替貯金管理所長、京城、釜山、元山、平壤、仁川、大邱、清津、群山、木浦各郵便局長列席の上廿七日より七月五日まで八日間に亙り遞信局に於て開催の筈たるが其日程左の如し

	午前	午後
廿七日	分掌郵便局長諮問事項 主管課に就き事務打合	同上
廿八日	同	郵便局長局務狀況陳述
廿九日	同	分掌郵便局長局務狀況陳述
三十日	同	同
二日	同	同
三日	同	郵便局長提出意見
四日	同	
五日	同	局長提出意見に對する內示及び分掌郵便局長提出意見

尚に總督訓示は二十七日會議の劈頭に於て行はるゝ豫定なりしも目下總督不在に就き變更し其日時は今尙未定なり

◎學校組合豫算

京畿道管內に於ける京城學校組合外三十一學校組合に對する大正六年度歲入歲出豫算を聞くに歲入四十一萬四千百六圓歲出四十一萬四千百六圓にして大正五年度豫算總額に對比し五萬三千九百五十一圓の增加を示せるが生徒數は一萬二千三百五十一人にして生徒一人當りの教育費二十一圓十一錢強を算する譯なりと云ふ

◎鮮銀券發行週報

六月十七日より二十三日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は三千八百九十三萬九千九百二十三圓なり

◎各地の旱害

已むを得ずんば直蒔

朝鮮興業會社大田管理所に於て調査したる各地の旱害狀況を聞くに同社の直轄管理地方に於ける旱害の最も甚しきは京畿道中始興郡、富川郡、振威郡等にして忠清南道にありては天安、牙山兩郡地方最も甚しく大田郡地方は稍輕微なり又忠清北道は清州郡地方一帶に甚だしく就中京畿道の前記各郡にては苗代の灌漑水缺乏して殆んど苗全部の枯損を見る處少なからず隨つて今後幸ひにして適當の降雨ありとするも十二分の降雨を見るにあらざれば植付は困難なるべく苗の枯損したる地方に於て已むを得ざる處にのみは恰かも陸稻を蒔付くる方式にて粳種の直蒔きをなすより外に途なかるべし云々(大田)

人事消息

▲藤田原直氏(戸畑精十會社員) 二十六日夜入京天眞樓へ
▲原保三郎氏(紙商) 同日退京新義州へ
▲鈴木四郎氏(三井物產仁川主任) 二十七日夜入京南大門旅館へ投宿の筈
▲神谷大阪商船近海課長 二十六日退京內地へ

南言北語

此の間支那督軍團の獨立の急先鋒として大番狂はせをやつて其名を揚げ黎總統も持て餘した安徽省長の倪嗣沖君▲何うして却々向ふ意氣は當るべからずだが我日本人に對しては猫の如く柔順であると云ふ彼の男がと不審するのは當然だが實際だ▲其の理由は前年君が未だ安徽の統領を勤めて居た時分の事▲形影相弔ふと云つた風の我が日本の浪人が推參して君に旅費を合力した▲將軍大に見縊つて貴國は聞かぬでもないが無償ではやらぬ一人一藝はおありう其れを所望と大きく出た▲浪人先生聊か小癪と思つて日本武藝の精髓たる柔道を御覽に入れやうと云ふこと▲將軍呵々快笑して負けさせろと浪人先生何の苦もなく投げ飛ばした▲次に山東拳術の達人が現はれたが之れも苦もなく投げ飛ばして▲予の如きは未だ柔道の初歩に過ぎぬ我國人の修めて堂奧に入るもの少なからずと大いに氣を吐くと▲將軍全く驚いて仕舞つて日本の強さは此の術にあるかと長嘆し直に百圓を出して叮嚀に取扱ひ▲爾來日本人を見ると「柔道來」と叫んで恐れ入るのださうな▲下院議長大岡硯海君何うしたものか奉答文議事中速記なしに議事を進行させて居た▲處を恒松博士に注意されて大狼狽最一度やり直しとあつて「之より議事を開きます」は劈頭の大失態▲之れが奉答文議事でなかつたら定めて一と騷動が起つて居たのだらう▲憲政會側では無言で無速記のまゝやらせて置いて仕舞に騷いでやる積りだつたとは人が惡い▲帝大文科の卒業試驗に某教授が地理の問題に▲「浦港の商業上及び軍事上の地位」と云ふ問題を出した處が▲浦港は朝鮮の南端にありと云ふ答案を出した者があつたので教授も開いた口が閉がらなかつたとの事▲之だから肩書に信用は出來ない

●長春經濟便り(廿三日發)

[illegible] し最高は金一圓に對し官帖二吊五百文代を唱へし事あるもそは異例にして[illegible]官帖充溢の有樣を呈し時には金一圓に對し二十餘吊文を唱ふ事もあるべ[illegible]兩日以前突然官銀號は暴落せる露貨を買占めん爲めて官帖を增發せる[illegible]路貨は歐洲戰爭開始以前は我が金票より[illegible]市價[illegible]を唱へ居たる當時[illegible]九十臺を現せしかば之れ以上下落する事なかるべしと茲に多くの邦人は買氣を付き留めに[illegible]の後露國内の事情面白からず殊に單獨講和說さへ出しかば市場は大いに[illegible]し迄には尙七八日ある事とて只管其の時迄に引戻の機會を希ひ居れるが[illegible]戾し其後は端午節句にて市場休止せるを以て其後の模樣不明なるも到[illegible]

債券賣買
債券の月賦賣及び担保貸付
今般福岡市博多下呉服町(電東交叉點際)に弊社福岡支店(振替福岡九五五〇番 電話一五四五番)を設置し來る七月一日より開店仕候
追て當日御注文の方へは紀念繪葉書贈呈仕候
東京市麴町區內山下町(日本勸業銀行構內)
株式會社 勸業債券月報社
振替口座東京一八番 電話新橋二九、三三六三、二一八〇番
日本勸業銀行月報同號外及び債券時報の發行
日本勸業銀行借入申込取次

貯蓄預金
元金百圓ニ付日步壹錢三厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社 十八銀行京城支店
京城黃金町電話四二〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所
龍山元町二丁目電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

米國紐育スタンダードペイント會社製
ラバロイド、ルーフィング
アスファルトフェルト
パドロー
最上毛製屋根葺用(見本送呈)
朝鮮總代理店
京城本町二丁目(電話長四五番、二七七四番)
釘本藤次郎本店
振替貯金口座京城二五六番

內外食料品
合名會社本嘉納商店菊正宗特約店
日本醬油株式會社特約店
東亞煙草株式會社特約店
竹田京城出張所
京城明治町二丁目 電話二三九〇番

蠶生蠶出
殼
繭絲種繭
龍山停車場前
日東社
電話長四六五番

日本傳說叢書
阿波の卷
顧問 文學博士森林太郎先生 文學博士喜田貞吉先生
藤澤衞彥編
全廿四冊完結毎月一回配本四六判四百餘頁
◎內容見本進呈(申込次第) ▼會費毎月一圓卅錢
豐富の阿波の卷出づ
阿波の十郎兵衞の傳說(歌舞伎の傳說)神澤の美人(化身傳說)海神の話(沼澤傳說)天馬石(神石傳說)母川鰻(湖沼主傳說)小幸相衣懸松 水界神傳說 [illegible] 祖先の傳承せる純美の秘寶也
申込所 東京神田錦町三 平和出版社內
日本傳說叢書刊行會
電話本局二三六六 振替東京八四四六

以て運ぶ吉林省官銀號發行の官帖は例年特産物出廻り盛期に於ては田舍より持來れる穀物を官帖に換へて奥地に持ち行く關係上市價漸次昂騰十吊文代を通り相場でなし夫れより穀物の出廻り終る頃（三月上旬）より漸次下落を告げ毎年昨今は奥地より官帖を持ちて雜貨に換へ爲に市場ら寸反て銀塊の騰貴に連れ別報の狀樣なるより例年の例を見越て官帖にて支拂ふべく取引せる我が木材商等は頗る苦境に陷り居たりしに茲一

▲露貨前途如何　暴落に次ぐに暴落を以て金百圓に對し露國紙幣二百四十留を唱ふるに至れり抑も同時に過般革命騷擾によりて外國爲替は漸次下落をなし百七八十より百に…人々…眼を放ち居たりしが其の後漸次紙幣增發を續けると代金以外に多くの邦人は思惑買をなし甚しきに至ては官吏或は會社員等が一儲せんものと貯金を引出して露貨を買入れたる始末なりしが、其に前記の二百四十留と云ふ突飛の結果を生ぜり之れが爲多く百九十留臺にて買ひ占めてる者等は此の暴落に逢ひ非常の損失を來せしが現物受渡さゞるに於ては邦人側の此の暴落によりて生ずる損失は四五十萬圓に達すべし、されど前記吉林官銀の露貨買占により本日は二百二十留臺迄引る〳〵く結局多少の損害は免れざるべしと憂ひ居るもの多し

◎關門の天地動搖めく
李王殿下下關御歸著
◦御東上の際に劣らぬ奉迎振り

御歸鮮の途にあらせらるゝ李王殿下には二十五日夜宮島御一泊二十六日午後四時半無事下關御著、是より先下關驛には山縣政務總監、古海警務總長、林山口縣知事、柴第十二師團長、井上要塞司令官、生駒下關市長代理其他諸官衙長、市吏員、學校生徒等多數出迎へたり軈て港內碇泊の御召艦『肥前』警備艦『富士』陸上重砲兵の發射する

×皇禮砲殷々として

關門の天地に轟き渡るや特別仕立の宮廷列車は轔轔として構內へ進入し來り殿下には※軍樂隊陸軍喇叭吹奏中に御下車相成り續いて長谷川元帥伊藤式部次長其他の隨員下車す殿下には陸軍大將の正服に大勳位章を帶ばせられ長途の御旅行にも拘らず少しも

×御疲勞の模樣なく

奉迎者に御會釋あり、生駒下關助役小平運輸課長御先導君ヶ代吹奏裡に棧橋に步を運ばれ御召艇神風丸に御乘船、村上富士艦長御先導阿彌陀寺町大吉樓下棧橋へ向はせられたるが途中は下關水上警察署汽艇にて御警備申上げ又市吏員等は滿船飾を爲したる汽艇にて奉迎したり御乘艇軍艦の附近を通過するや各艦は孰れも

×登舷禮を行ひ萬歲

を三唱せり軈て御召艇は大吉樓下棧橋へ到著同所附近は海岸一帶紅白の幔幕を張り陸海軍々人堵列して御迎申上げたるが殿下には御上陸後直ちに春帆樓へ入らせられ各奉迎者の伺候を受け給へり下關市よりは過般來

×謹製中の赤間關硯

一個を生駒助役關谷市會議長携へ獻上し港內碇泊軍艦は同夜電飾を點じ探海燈を照射し又下關市は聯なく煙火を發揚して御旅情を慰め奉れるが晝間は軍艦富士の拜觀夜間は電飾の壯觀にて關門兩市は頗る賑ひたり因に殿下には二十七日午前八時春帆樓御發御召艦肥前に御乘艦第十八驅逐艇隊村雨朝露の二艦警護の下に同八時半解纜御歸鮮の途に就かせらるゝ御豫定なり（下關特電）

◎興趣ある講演振り
本社主催 大井冷光氏のお伽會

本社主催大井冷光氏のお伽會は廿六日午後一時より南大門小學校雨天體操室に於て開會せり

◆當日は雨天 に拘らず南大門小學校西大門小學校生徒全部及び鍾路小學校生徒半數約一千三百餘名集合し石原東大門小學校長の紹介にて大井氏登壇し『寶ちゃんの味方』と題する興趣あるお伽話を約一時間半に亙りて講演したるが氏が獨特なる話振りは非常に

◆兒童の喝采 を得、悲喜滑稽の表情一々全兒童に徹底して其の度毎に拍手湧くが如く間に於て暫時休憩し午後三時講演を終り氏は直ちに日の出小學校に赴き同校講堂に於て河合同校長の紹介にて同校及び櫻井小學校千餘名の生徒に對し『鍾つき爺さん』の之れ亦面白き講演一時間餘に亙り多大の感動を與へたり

▲日出校でも喝采

本社主催に係る時事新報社の少年少女記者大井冷光氏のお伽噺は二十六日の午後三時から更に府內日出小學校にて開催同校雨天體操場には日出櫻井兩小學校の尋常四年生以上の生徒數百名の盛況にて大井氏得意の敎訓的お伽噺は非常なる感動を與へ午後四時二十分破るゝが如き喝采の裡に閉會せり

◎江原道山火事

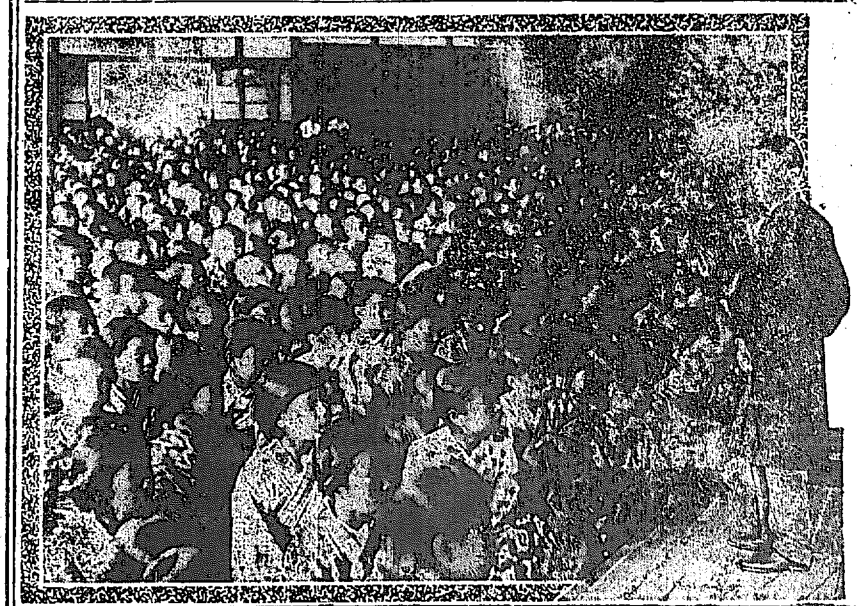
江原道華川郡下南面居禮里沙覩山附近より六月九日午後十時頃發火し里民八十餘名出動消防し國有林三十町步（損害約二百圓）を燒失して十一日午前六時頃鎭火せり▲華川郡下南面龍岩里龍華山麓より九日午後五時頃發火三百餘名出動消防に務め國有林野五十餘町步（四百餘圓）を燒きて十一日午後九時頃鎭火せり▲同郡新北面鉢山里三韓洞の國有原野より六月十五日午後二時頃發火し二百餘名消防し十五町步（損害十五圓位）を燒き十六日午後六時頃鎭火せり

◎脚氣の新藥
古武博士の發見

大阪醫科大學古武博士は脚氣の新特効藥を發見せり該新藥はスペルチンと稱し糠より採し物にて特に衝心性患者に特効ありと（大阪特電）

◎スミス氏 臺灣へ渡航

鳥人スミス氏は母堂同伴二十六日門



我が社で催したお伽噺の大會
◆廿六日午後、南大門小學校と日の出小學校とで ◇立つて居られるのが大井冷光先生

◎長崎縣下に 虎列拉發生

長崎縣北松浦郡鹿町村に二十五日虎列拉發生せり（長崎特電）

◎三菱職工復業

長崎三菱造船所職工の同盟罷工は常態に復せり（長崎特電）

◆盲目賣卜者六十名
警務總監部に迷ひ込む

二十五日正午頃警務總監部に鮮人の盲目賣卜者約六十名が杖を並べて押し寄せた彼等は鍾路警察署管內の居住者だが警察署で過般巫女や賣卜者の檢擧處罰を斷行したのでわれ〳〵同業者一同は生計に困るやうな羽目になつた、何とか御手軟かに取計ひが願ひたいと首を並べて嘆願に及んださうな、之れを聽取した係官の方でも何しろ大勢の盲目者に押掛けられたので一寸面食つたが懇諭して一先づ退散せしめたさうだ

◎猛虎牛を襲ふ

忠北丹陽郡永春面香山里金譜浩方畜牛放牧中去る十六日猛獸に咬殺され同十七日朝は同郡鳳化面佳山里金海成方の牛も咬殺されたるが猛獸は虎の如き模樣にて目下驅除勵行中

◎豺に咬殺さる

京畿道長湍郡々內面芳木里邊興補長女邊熙（三）は十九日午後七時頃自宅前の畦路にて他數名の小兒と遊步中一頭の大豺現はれ同人を三丁許りの山上に拉去して遂に咬殺せり急報に接し長湍憲兵分遣所にては目下驅除勵行中

◎虎疫は陰性と確定

豫ねて警務總監部の衛生課に於て檢査中なりし大邱の疑似虎列拉は二十五日正午に至り檢鏡の結果多數の雜菌を認むるもペプトン及びヂウドンネ特異培養基並にコレラ菌の發生を見ず又反應試驗の結果も全く陰性なりと確定せり

◎仔豺八頭生擒

慶南陜川郡伽耶面大田里朴熙樹外十名は去る九日同里蜈蚣山腹にて豺の巢窟を發見して仔豺八頭を生擒せり

◎爆藥密買者檢擧

山口縣玖珂郡麻生村重岡三郎（三五）熊本縣天草郡棚底村德本憲吉（三三）及び慶南密陽郡河東面曹得龍（三五）の三名は去る四日慶北慶州郡甘浦神合にて不正漁業に使用する爲め氏名不詳の內地人よりダイナマイト十六本雷管十七個導火線長さ二尺九寸及び線香十一本を密買したる事發覺し慶州警察署の手に逮捕され目下取調中

◎三人斬事件判決

去る三月二十一日慶南東萊郡左邱面龜浦洞飮食店大崎いせ方板場周內龜太郎（三）が左官職藤田與吉と口論の果て與吉及び同職鈴木吉五郎同山村重吉の三名が酒宴中に出刃庖丁を懷中して怨を晴さんと襲ひたるを與吉等に觀破せられ出刃を奪はれたるを傍にて見たる大崎方の板場張長守（二八）は兇器を揮ふて重吉に斬付け卽死せしめ吉五郎に重傷を負はせ翌日死亡せしめ與吉に輕傷を負はせたる殺人事件公判は過日來釜山地方法院に於て開延中なりしが二十一日午後龜太郎は殺人の意志なきものと認められて無罪を下手人張長守は懲役十年に處する旨判決言渡ありたり（釜山）

◎檢疫醫の奇禍

新義州開港檢疫醫齋藤謙次郎氏は廿五日出張の途中俥上より墜落重傷を負ひ安東病院に入りしも同夕死亡せり

◎群山の大相撲
二日目の勝負

群山に於ける東京大相撲二日目（二十六日）の勝負左の如し（群山特電）

勝		負	勝		負
若嵐	○	遠州洋	室戶崎	○	筑後川
友の山	○	友渡	龍ヶ瀧	○	太刀嵐
△中入後					
矢筈山	○	四國洋	荒玉	○	國見崎
淸瀨川	○	若島	敷島	○	紅葉川
土州山	○	黑瀨川	太刀山	○	伊勢濱

◎兇賊捕はる

全南長城郡長城面壽山里金斗業（三七）は去る五月下旬全北高敞郡に通ずる可來峠に於て出刃庖丁を持つて通行の魚屋姜自乞の頭部を斬り付け一圓餘を强奪し商續いて來る朱南洙にも危害を加へんとせしも同人が逸早く逃走せし爲め意を果さず此程長城分隊の手に逮捕せられ取調の上檢事局送り

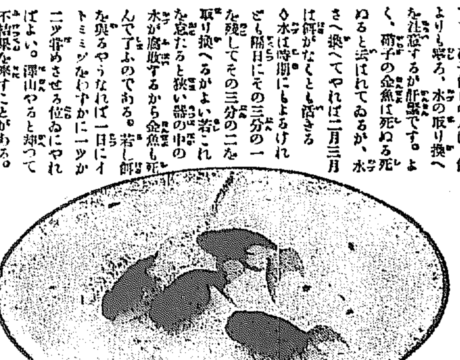
◇ランチウの飼ひ方◇
▼江原善槌氏談▲

◇江原氏はいふ「朝鮮では硝子器飼ひの人が多いやうです。硝子飼ひの人は、餌よりも寧ろ、水の取り換へを注意するが肝要です。よく、硝子の金魚は死ぬる死ぬると云はれてゐるが、水さへ換へてやれば二月三月は餌がなくとも活きる

◇水は時期にもよるけれども隔日にその三分の一を殘してその三分の二を取り換へるがよい若しこれを怠たると狹い器の中の水が腐敗するから金魚も死んで了ふのである。若し餌を與るやうなれば一日にイトミミヅをわずかに一ツか二ツ舐めさせる位ゐにやればよい。澤山やると却つて不結果を來すことがある。

◇また金魚の病氣は、主としてその尻尾を襲ふものである。病氣になると、局部があかくなるので直ぐわかる、また眼病がある、エラが白くなる病氣がある。あれでなか〳〵めんだうなものだ。

◇病氣の療法は、先づ稀薄な食鹽水を毛筆につけ、それで金魚のからだを洗って



やるがよい。また梅酢を以て洗ふもよい。稍ほ稀薄な硼酸水や石炭酸水で洗ふもよい。それに清水を盛つた別な器に移して、水浴法をやるもよい。

◇病氣にかゝつた金魚は、群をはなれるものである。群の外に獨りションボリ居るものは、既に病氣のものだから注意するがよい。

◇なに、誰れが金魚の雌雄を知らんやと━━謂はないが金魚の姿では大きな長い錢をすると亭主は少さな錢を出すそれに初夏の交尾期となれば前の鰭に粉米のやうな粉をふくものが雄である。

◇以上でざつとおはなしした積りだが、金魚の趣味もなか〳〵面白い。殊にこれからの銷夏法には一番よいと思ふ。我家の詩を見てくれ給へ━━拙いには拙いが━━蘭鑄麟村鐺質、淨碧流坤不溺逝、休咲我家阿堵物、滿池金色躍嬉々（をはり）

◎入江令孃葬儀

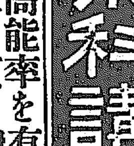
入江理財課長令孃潤子の葬儀は二十六日午後四時より臨濟宗妙心寺に於て執行されるが荻田總務局長、水口、平井、田中課長其他高等官民間有志の會葬多數ありき

◎鮮人生徒の溺死

江原道原州公立普通學校生徒李鏞俊（一八）は二十三日學校の規約に反し原州邑より約一里隔りたる川に單獨游泳に行き最初は淺瀨にて游泳し居たるに誤つて淵に流れ込み遂に溺死したり（春川）

◎列車給仕募集

南大門驛にては十五才以上十八才以下の高等小學卒業程度にて多少英語の素養ある眉目秀麗なる者を列車給仕として採用する由にて希望者は自筆の履歴書携帶同驛に出頭す可しと



回壽座　例の澤村源之丞一座は連日好評を博し居れるがいよ〳〵二十八日限り京城を打ち上ぐる由にて二十七、二十八兩日の藝題は一番目鏡山猫騷動大序より大詰まで切奧州安達ヶ原袖萩祭文にて源之丞は女房お袖より化猫に早替りを爲し宙乘りを爲す由

回御成座　暫らく休演中なりしが今回從來の新派劇の一座へ須崎勝三外六名の若手俳優を新加入とし二十七日より開演の由

回大正館　例の大阪所載小說髑髏七卷を上場開演中なるが大入りをつゞけ居れり

回黃金館　松旭齋天一一行の西洋奇術開演中なるが日を經るに隨つて入りを增し居れるは盛んなりといふべし

回有樂館　淺草帝國館にて二十五日間大入續きを見たりといふ淺草情話血染の壁は頗る好評にて紫の袴面、紙背の價値なども共に喝采を受け居れり

回浪花館開演延期　來月一日より浪花館に開演の筈なりし新派高橋（伊藤高遊）は市電問題の重要案件討議のため上京中の市會に出席のため京城乘込みは七月中旬となるべしといふ

◎謹告

今般東京大相撲太刀山伊勢の濱一行當地乘込みに際し有志相謀り太刀山後援會を組織し大に聲援致し度く存じ候間何卒御同感の諸彥は至急御申込相成度此段謹告仕り候

特等（木戶共）一人前　壹圓貳拾錢

追而會員には場代割引の外にビール壹本當日進呈可致候

太刀山後援會事務所
京城本町三丁目（永樂町通）
木村商會（電話一三六四番）

是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!
◎大日本政府登錄　米國製正十四金「イリジーユム」付ペン（責任保險付）
PIN,, E"
◎附言パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ケ年間交換又無料修繕
完全なる設備と老練なる技術者に依各種萬年筆即時修繕
堅牢無比
京城旭町二の六　東京パイン萬年筆出張所
定價　總出式 六圓八十錢　押出式 五圓三十錢　インキ止短軸 四圓九十錢　最新婦人用 三圓八十錢　インキ止實用 三圓八十錢
發賣元　京城大平通一丁目 京城日報代理部　振替京城三〇〇番
陳列所　京城本町二丁目 ウツボヤ書店

短期速成　建築科講義錄
東京市麴町區飯田町三　帝國工業教育會
特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

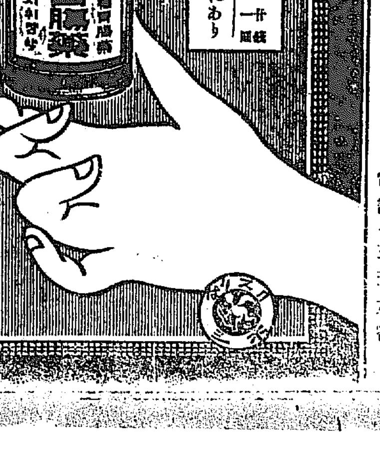
◎移轉擴張　鑛物各種分析　附電解裝置
△設備完成　△正確迅速
時運の要求に迫られ移轉擴張
京城太平通二丁目六百廿三番地　稻荷社向側小路（朝陽分析所事）
松永分析所　電話二八二三番

最新刊

書名	著者	定價
密教法具便覽	櫻田霞外	二、五〇
釋迦牟尼傳	常盤大定	一、〇〇
米國敎育概觀	山內佐太郎	一、八〇
法華魂	清水白風	一、二〇
出家とその弟子	倉田百三	一、〇〇
歐洲政史概觀	廣瀬哲士	一、〇〇
戰後の獨逸商業	外國時事社編	八〇
六年四月新聞年鑑	第三卷七五第四卷 第一卷八〇第二卷	七五
思索と體驗	西田幾多郎	一、〇〇
長塚節歌集	長塚節	一、三〇
捨兒	森田草平	六五
獨步集	國木田獨步	五五
散文詩	生田春月	五五
心	夏目漱石	一、〇〇
道草	同	一、〇〇
絕壁魔城	宮崎一雨	四五
血戰記	川島挹一郎	八五
手段の秘訣	風舍華一	八〇
東語指南	文求堂編	八〇

大阪屋號書店　京城本町一丁目　電話六六〇・三六六　振替京城二五七三番

ホシ胃腸藥
最も優良なる胃腸藥はこれ！
▲消化不良 ▲溜飲 ▲吐瀉 ▲惡醉
▲食もたれ ▲飲過 ▲食過 ▲宿醉
▲胃腸カタル ▲惡心 ▲胸焼に効あり
定價 一十錢 五十錢 一圓 廿錢
各地藥店及特約店にあり
東京京橋南傳馬町　星製藥株式會社



繪絹ぬめ各種紐類
京城明治町筋　尾琴屋　電話一三五九番

花筐（三八）

松田竹の島人作

田淵は餘儀なく、お豊を自分の家に匿いて置ることに爲たが、狡智に長けた彼れは、此上にもお豊を利用しやうと思つた。

『お豊さん什麼だね、京子さんのとこに往つては……』

『だつて貴方、市野の奥様は、何處に居らつしやるか分らないぢやありませんか。』

『何麼分らんことがあるもんか、僕にはちあんと分つてる。』

『へー』とお豊は呆れた顔を爲る。

『お前にも似合はない、目先の利かんことを言ふぢやないか、お前に頼んで、京子さんへ市野のことを悪く言つて貰つたろ、それが原因で京子さんは姿を隱してゐるぢやないか、考へないでも分かることで、何故僕があんなことをお前に頼んだかだ。』

『然ッするど貴方は、市野の奥様と嫏合ひで、奥様にあんなことをおさせなすんたんですね。』

お豊は、健者だけあつて、直ぐにもそれと察する。

『然うさ。』と田淵が點頭くと、お豊は何ほ呆れ顔で、

『貴方にや油斷も隙もなりやしない。』と冷かすやうに言ふ。

田淵は笑ひながら、

『お前程のものだから、疾うに想像がついてゐたらうにね。』

『お前程のものは聽きますね。これでも莫迦正直で、目先きは些とも利かないんですからね。だから貴方から旨く頼まれて、市野の旦那と奥様の中を割いたんでさあね。妾が利功なものなら、何んであんな厭やなことを頼まれるもんですか。』

『あんまり然うでもなからうよアハヽヽ』

互に冷かしの言ひ比べを爲てゐたが、お豊は改つて、

『妾が、市野の奥様の處へ往つて什麼するんです？。妾は最う市野さんから御暇が出たんですから、何にも奥様の處に往く理由はないぢやありませんか、然うして奥様は今何處に居らつしやるんです？。』

『京子さんは逗子に居るさ。』

『逗子といひますと、鎌倉の先きぢやありませんか。』

『然うさ。』

『奥様は什麼して又其麼處に居らつしやるんでせう？。』

『僕が置いといたのさ。』

『貴方は餘程惡るい方ねね。』

『まあ惡くつても何んでも可いさ』

『だつて今も言ふ通り、市野さんから御暇の出た妾が、何にも奥様の處に往く理由はないぢやありませんか。』

『ところが嘘も法辨で、何んとでも言ひやうがあるさ。慾いふとお前を此處に置いとくのが厭やで、逗子へ逐ひ遣つて了うやうに思ふだらうが、決して然ういふ理由ぢやないのだ。一端僕から頼まれたお前だから將來も僕の片腕と爲つて、助けて貰ひたいから、逗子へ往つてくれと頼むのさ。併しそれだけの骨折は充分に爲るからね。』

『一度貴方から頼まれた妾ですもの將來だつて貴方の爲めなら甚麼ことでも爲ますさ。でもね田淵さん念の爲め伺つて置きますが、貴方は若しか、市野の奥様を自由に爲さらうてんぢやありませんか？。將來貴方の爲めに骨を折らうといふ妾ですから何にもかも斷して藏かなくつちや困りますよ。』

『お前が然ういふ迄もなく、悉皆斷さうと思つてゐたんだ。』と田淵は言つて、鼻下の髯を捻る。

觀火の夜

坡柳生

うちわを女客のうしろへかたむけ
來ぬ客に腹だゝしき大船の涼しさ
客がすくない蜆汁何ン杯も
子供らには夏蜜柑の皮投げさせ
油煙の流れ鵜飼舟の岐阜提灯
花火をもつてあげよ君の顔が赤い
剌身包丁を洗ふ京城のお婆さんのゆかた
簾越の花火仰ぐ女のうしろ
客を群衆の中へ送りて夏帽見てゐる
汐に乗せて出てゆく船のみじか夜
戻りのろうそくかへ淋しいゆかた
瀬上る時の大勢の掛聲夏夜也
起きては提灯消しては夏夜の冷ね
寢た子をそつとねかして明易い蚊帳等に

新刊紹介

▲アーギユメント講義（增田藤之助監輯）一般文章構成法の會得を主とし文法、語格に就ては精細なる研究を避けて文章構成上須知事項の解説に止め而して語句の用法及質問に就ては適切なる多數の文例を引用し隨所題みを設けて會得せしめん事に努むると共に専門學校入學試驗準備書たらしめん事を期せり本書の內容は高尚なる人格の實例を揭げて青年の志氣を鼓吹し成功の要諦を說けるものにして譯解よく原文の快明なる文體を傳へたれば修養上にも亦資する所勘からざるべし（七十錢東京神田元岡町一の三二文明堂）

▲新聞年鑑（四）本年三月二十一日より四月二十五日に至る本邦代表的新聞雜誌所載の論說及雜道を收め之を時事論評、歐洲戰亂、國策時事、支那時報、政治、宗敎、敎育、藝術、商業經濟、航空と運動、雜錄、時局界、商取引、附錄の各部門に分てり、內容益々整頓し來るを見る（八十錢東京赤阪青山町一公論社出版部）

▲實驗煉炭製造法『附三週間成就法』に就て（林丁一著）近時漸く需要せらるゝに至れる煉炭製造の煉炭製造法を製造法及內用法、外用法に分ちて詳說せり初學者には解し難き點尠なからざれども實驗質問家には一讀に價すべき好著にして附錄の三週間成功法は將來の煉炭業に對する著者の想像を記せるものなり（四十錢大阪市西區時原町一〇二實驗社）

▲朝鮮移住案內　今回移住規則の改正に伴ひ機に刊行せる朝鮮移住手引草を改題し新規則を基礎として東洋拓殖株式會社の移住民となる手續及移住規則の趣意を周知せしむる爲めに刊行せるものにして內容は概言、移住民となる迄の心得、移住承認後渡鮮迄の心得、渡鮮後の心得、既に移住せるものゝ狀況及附錄とせり（非賣品京城東洋拓殖株式會社）

▲第五通俗敎育道話（安藤變山著）抽象的の議論を避け世上通俗の事例を擧げ之に古聖賢の金言、和歌、俚諺等を配し味ある興味の裡に處世上の敎訓、精神上の修養に資すべきもの三十餘篇を收めたり一般家庭特に子弟敎育上の良書たるべし（三十五錢東京本郷駒込坂下町四八大日本雄辯會）

▲馬の飼養繁殖『附馬體相及搨畫』（村井半之助著）總論、飼養、繁殖、幼駒の育成、馬の種類の六章に分ち理論を避け實地の應用を主とし專ら新規の說を探擇して畜馬業者の參考に資せん事を期し簡易平明に記述せり所論の實際的なるに本書の價値を認む（五十錢東京神田小川町敬文館）

▲周易講義（卷一）『山岸輝光講述』本卷は易經上編卅卦中十四卦を講讃せるものにして一卦毎に古易者の象辭及其の象辭に對する學者の解釋を施し次で古賢大要を加へたり周易研究者は一讀の要あるべし（非賣品東京神保町二六至文館）

▲東洋拓殖株式會社殖民統計（第六報）大正五年五月一日現在數を以て編纂せるものにして同社殖民狀況の一般を記述し統計圖表及統計表を以て其の成績を一目瞭然たらしめたり（非賣品京城東洋拓殖株式會社）

髮をしなやかに丈長かく
美しく房々と
黑く漆のやうにするは
廣い世界に「タッタ一つ」
――とは――
パール煉香油があるばかり
パール愛用者がおつしやる
實話であります

本舖　東京　平尾銑也商店
關西代理店　大阪　平尾贊平支店

繪日傘の蔭に

舞ひこむ男蝶かな

夏の明るい光線にお化粧榮

若葉の下風心持よき初夏の頃のお化粧には、今までの有りふれた白粉ではどうも何となく興味がかつて居て、眞個の美しい白さに塗かなかつたものです。この點で人知れず苦心をなさつて居らつしやる御婦人方は、是非いままでの品とは塗けた上の白さの異ふ

高貴御料　練製ホーカー白粉

を御使ひ下さる様お勸め致します

「新發見」と云はるゝ本品の特長

◎日本人の肌にピッタリと合ふ◎

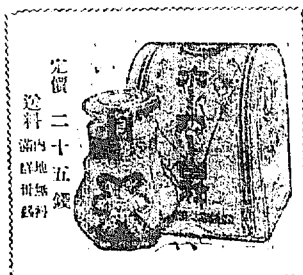
日本人の肌の色合ひにピッタリ合つて、皮膚の色と調和する所にこの白粉の眞個の美しさがあるのです。

◎今までの品とは白さが異ふ◎

白粉は白いものと昔から極まつて居ながら、之を仔細に見別けると仲々異に白いと云へる白粉は無いものです。本品は此點に充分注意して皮膚の素地の底から白いやうな美しい白さに塗くことを特長として居ます。

◎不思議に襟を汚さない◎

この白粉で怎んなに濃化粧をしましても、決して着物の襟を汚す如うなことがムいません。これは着く力が强いからで從て白粉崩れや、剝け落ちなどのないことも判明ます。



定價二十五錢
送料　滿內鮮地　拾八錢

全國到る處の店にありますが、若し品切れの節は直接本舖へ向け振替又は三錢切手代用にて御注文下さい。

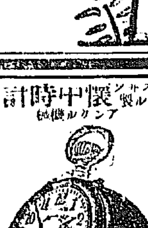
ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカー美髮液

本舖　東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店
電話神田特長一四三、長一四四、一四五番
振替口座東京一一五六番

松丸太各種荷揃
龍山印刷局前（電話五二一番）
竹村材木店

和洋家具類　京城本町三丁目　增田本店

新荷著
瑞西製懷中時計　アンクル機械



機械精巧、體裁優美、價格低廉　時刻正確、比類無し

（ニッケル側）十八形 二圓五十錢
同 十六形 七圓
同 同 八圓
同 十六形 六圓五十錢
同 十七形 四圓五十錢
同 十七形 十圓
（鐵側）同 四圓五十錢
同 十六形 七圓
色付破璃器時計 十二形 七圓五十錢
同 十六形 八圓
金張十年保證 十八形 十五圓
同 十七形 二十二圓
同（十年保證）十八形 十八圓
同 十三形 二十五圓
同 十三形 十六圓
同 十四形 九十圓
同 十三形 十九圓

右は今回新著の商品にて本商會獨り之が引受の有無に際し地方遠隔の御注文に對しては代金引換にて御送り致します

小包郵便にて御送り申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレッシー商會
京城本町二丁目　電話九七二番

帆模　牛乳　ニッソ　石鹸 洗粉
專賣　東亞牧場　京城蓬萊町四丁目　電話五二番

泉金間自動車發著時間

金泉發 前八時 午後二時 / 泉村着 前九時 後四時 …
金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

共同汽船仁川出帆

波止場（都府命令航路）
○芝罘、大連行　第廿共同丸　六月廿九日午後入港、七月一日前十時出帆
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）　仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　同村運送店

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行　○○和歌浦丸　六月三十日後五時出帆
○○立神丸　七月一日後五時出帆
元山、浦潮行　○○和歌浦丸　六月三十日後四時出帆
○○立神丸 …
元山、清津、浦潮行　第三翠平丸　六月　日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行　○○第三翠平丸　月　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天長丸　毎月二日、九日、十四日、廿一日、廿六日　午後十時出帆
釜山港辨天町　本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船出帆

○○○○京原丸、江華丸、黃海丸、咸鏡丸　仁川より釜山に至り…　六月廿八日、七月二日　釜山發
○○○雄基丸、昌平丸、城津丸　六月廿七日、元山發
○慶興丸　六月　日
○盛京丸　六月　日
○平壤丸　六月廿七日　釜山發
○江陵丸　每日　釜山發
○○襄陽丸　每日　浦項發
○三浦丸　六月　日　釜山發
○○統營丸、海州丸　○○巨濟丸、慶寶丸　每日　釜山發
○平安丸　六月　日　元山發
○順天丸　三日目每に　木浦發
○慶興丸　六月　日　木浦發
○慶興丸　六月　日　木浦發
○公州丸　六月　日　木浦發
○麗水丸、晉州丸　六月、六月廿七日　仁川發
○宗信丸　六月　日　仁川發
○○全州丸、南陽丸　每日午前　仁川發
本社　京城南大門通　松原運送店　電話長一七〇番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開盛旅館　電話二六一番

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽（天津）、牛莊行　和歌丸　七月廿六日正午出帆
高砂丸　七月五日正午出帆
三河丸　七月十五日後六時出帆
仁川海岸町一丁目　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○君が代丸　七月七日後四時出帆
○大有丸　七月一日後四時出帆
○秀吉丸　七月五日後四時出帆
○神代丸　七月　日後四時出帆
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○外國航路出帆の時は二日前に御乘船あらんことを…
關門、神戸、大阪行　南都丸　六月廿九日、汕頭丸　七月三日、南都丸　七月十二日　後二時出帆
神戸、大阪行　汕頭丸　六月　日後五時出帆
木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行　安東丸　六月　日、安東丸　七月十三日　後二時出帆
橫濱行　濟州丸、福州丸　七月、六月廿七日　日後二時出帆
南浦行　福州丸、南都丸　六月、六月三十日　正午出帆
鎭南浦、大連行　安東丸、安東丸　七月八日、七月廿六日　後二時出帆
大連直航　濟州丸、福州丸　六月　日　正午出帆
宮島丸　七月十日後十二時出帆
西湖津、新浦、城津、清津行（元山出帆）
安平丸　七月二日後十二時出
湖北丸　七月六日前四時出帆
大智丸　六月　日後四時出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
御注意　大阪商船會社仁川支店　電話二三番、二二〇番、五五八番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開盛旅館　電話二六一番

商況

大阪期米

	當限	中限	先限
寄附		二一、一五	二一、八一
高値		二一、三五	二二、〇三
安値		二一、一〇	二一、八一
止め	二〇、五〇	二一、二〇	二一、九二

仁川期米

▲結局保合　前場引出は市場人氣の沸騰したるも高値は叉賣物多く無商にも上伸せず七十五錢と押し大阪三筋七十一錢と續て高移りに更に七十一錢と高勝したるが大阪止五十九錢と安移りに賣物多く六十九錢と押し大保戰大勢は雨後の商に小變動を繰り返し保合の儘收會となる

▲雨降て高し　前場引け値が大阪の好況を反映して漸次強勢を示し…

▲△同店の買三千餘石賣二萬餘石…

…

◎嫁を賣る　江原道通川郡臨院面豆白里居住李容瑞妻鄭氏廷昌の妻吳性女（二七）を…